

会長のページ 猛暑酷暑	河野 雅行	3
日州医談 2040年を見据えた新たな地域医療構想	金丸 吉昌	4
随 筆 スポーツ談義 「空手」と「テニス」	杉田 新	6
高校野球大好きドクターVol.3 ～南九州編～	山田 琢也	8
ちっちゃな私	谷口 二郎	10
九州オルレ 宮崎・小丸川コース	石橋 俊秀	12
エコー・リレー (613)	岡村 樹里, 明野 慶子	15
メディアの目 看護師さんの姿に感銘	本部 洋介	16
身近なお困りと相談室	高山 桂	17
国公立病院だより 国民健康保険高原病院	池田 直徳	26
宮崎大学医学部だより 宮崎大学医学部附属病院-リハビリテーション部-	荒川 英樹	28
部会だより 産業医部会	山中 聡	29
診療メモ 糖尿病診療におけるマンジャロ®の適正使用について	東 真弓	60
宮大医学部学生のページ 部活動紹介～ダンス部～	清水 省吾	62

あなたできますか？(令和7年度医師国家試験問題より)	14
宮崎県感染症発生動向	18
日赤だより	21
各郡市医師会だより(延岡市医師会, 日向市東臼杵郡医師会)	22
九州医師会連合会第429回常任委員会	30
ベストセラー	31
日医インターネットニュースから	32
医師協同組合だより	34
医師国保組合だより	35
会員の異動・変更報告	38
理 事 会 日 誌	40
県 医 の 動 き	44
ドクターバンク情報	45
行 事 予 定	49
医学会・講演会・日医生涯教育講座認定学会	53
あ と が き	72

お知らせ 第10回生命を見つめるフォト&エッセー作品募集	51
郡市医師会への送付文書	64
医療勤務環境改善支援センター	70
日州医事原稿募集のお知らせ	71
ご 案 内 宮崎県医師会親善ゴルフ大会	7

日州醫事

令和8年9月10日 発行（毎月10日発行）

No. 925



宮崎県医師会

2026 **9**

医師の心得

1. 私たちは、皆さまの健康状態をよくお聞きします。
2. 私たちは、皆さまに最善の医療を提供できるよう心がけます。
3. 私たちは、皆さまに医療内容をよく説明し、一緒に医療を行います。
4. 私たちは、皆さまの「知る権利」・「知りたくない権利」を大切にします。
5. 私たちは、皆さまの健康維持と医療の質の向上に尽くします。

公益社団法人 宮崎県医師会

(平成 14 年 3 月 12 日制定)

〔表紙作品：写真〕

諏訪神社

国富町八代北俣に鎮座する諏訪神社には、境内に湧水が流れ込む澄んだ池があります。透明度の高い澄み切った池には、色鮮やかな鯉が睡蓮の葉の間を優雅に泳いでいます。その幻想的な美しさはまるで絵画のようであり、「国富町のモネの池」と紹介されることもあるようです。鳥居から社殿へ続く参道も木々に覆われ、夏でも涼しさを感じられる場所です。今回は、池の鯉と水面に映る雲を撮影しました。とても美しい神社であり一度訪れる価値があると思います。

綾 町 玉 置 昇

会長のページ

猛暑酷暑

かわ の まさ ゆき
河 野 雅 行

まず、7月28日の熊本地震で犠牲になられた方々に哀悼の意を表し、被害を受けられた方々にお見舞いを申し上げ、一日も早い復興を祈念いたします。

近年の夏の暑さは尋常ではありません。真夏日から猛暑と表現され、40度を超した場合には酷暑なる新語も造られました。ニュースでは危険な暑さ、災害級の暑さなどと述べています。酷暑を記録する地域が年々増加しており、九州と並んで本州の内陸部でも報告されています。更なる高気温の際にはいかなる造語が出るのでしょうか。暑さで作物の生育にも異変が出始め不作となり、海水温が上昇して捕れる魚の種類が変わり不漁が伝えられています。作物や海産物にも猛暑・酷暑の影響があるのでしょうか。

気温上昇につれて熱中症患者も増えて、7月ごろから毎日全国で数百人が搬送されたと報道されています。以前は夏場の水難事故が大きなニュースになっていましたが、昨今は熱中症報道が群を抜いて多いようです。極端な例としてはプール活動や海水浴中にも熱中症は発生します。戸外の活動のみならず、屋内での熱中症発生も増えています。体の丈夫なプロのスポーツ選手でも熱中症に罹ります。選手のみでなく、観客も暑さ対策が肝要です。先日、知り合いがサッカー応援に行き、あまりの暑さで気分が悪くなり途中で引き上げたそうです。子どものころは夏休み帳に30度程度と記録した記憶があります。今では40度と記録するのでしょうか。この現象は地球温暖化によるものなのでしょうか。本年は強い太平洋高気圧の影響によるものだとも説明されています。

夏の恒例行事であったさまざまなイベントの開催も再検討されてきました。祭りやスポーツや行楽にいたるまで、まず暑さ対策が必要になりますし、中には行事を縮小・中止せざるを得ない場合もあるそうです。数年前から公的な場でもクールビズが唱えられ、一般化してきました。近日中にハーフパンツも可となりそうです。しかしハーフパンツは「スネハラ」などという人もいるようです。暑さ対策としてさまざまなグッズが販売されて大きな市場になりつつあります。日傘やハンディファンの使用は普通になり、ファン付の衣類や冷感グッズ等々アイデア商品が数多く売り出されています。諸所にミスト発生装置や、冷房休憩室（クーリングボックス）も設えられています。

海外では酷暑と乾燥により大規模の山林火災も報告されています。従来の暑さ対策のみでは対処困難なようです。

酷暑日の報告はだいぶ少なくなりましたが、まだまだ暑さは続きます。上手く対処して夏を乗り越えたいものです。

(令和8年8月5日)

日州医談



2040年を見据えた新たな地域医療構想

宮崎県医師会 副会長 かね まる よし まさ
金 丸 吉 昌

はじめに

2040年を見据えた新たな地域医療構想が令和8年度中までに策定される。今年7月に厚生労働省からそのガイドラインが発出された。以下私見を交えて概要をまとめた。

新たな地域医療構想の背景

これまでの地域医療構想は、2025年を目途として病床機能の分化・連携を進めることを中心に、各医療機関の自主的な取組みと地域医療構想調整会議での協議により推進されてきた。しかし、今後は2040年を見据え、急速な高齢化、生産年齢人口の減少、医療従事者不足、高齢者救急や在宅医療需要の増加など、地域医療を取り巻く環境が大きく変化することから、新たな地域医療構想では、入院医療だけでなく、外来医療、在宅医療、介護との連携、人材確保までを含めた地域全体の医療提供体制の構築が求められている。

2040年には、医療と介護の複合的なニーズを抱える高齢者が更に増加する一方、医療を支える担い手は減少することが見込まれる。そのため、病院完結型医療から地域完結型医療への転換を進め、住み慣れた地域で必要な医療や介護を切れ目なく受けられる体制を整備することが重要となる。

新たな地域医療構想の基本的な考え方

新たな地域医療構想は、都道府県が主体となり、地域医療構想調整会議などでの協議を経て2028年度中までに策定される。2040年の人口構造や医療需要を見据え、地域ごとの実情に応じた医療提供体制を構築することが基本的な考え方となる。

地域医療構想調整会議では、人口動態や患者の受療動向、医療資源などの客観的データを基

に議論を行い、必要に応じて構想区域の見直しも検討される。

医療機関機能の見直し

今回の構想で最も大きく見直された点の一つが、医療機関機能の整理である。

従来の病床機能を中心とした考え方に加え、医療機関の役割を明確化するため、「高齢者救急・地域急性期機能」「急性期拠点機能」「在宅医療等連携機能」「専門等機能」「医育及び広域診療機能」の5つの医療機関機能が示された。各医療機関は、自院が現在担っている役割だけでなく、2040年に地域で果たすべき役割を検討し、診療実績などをふまえて、遅くとも2028年度までに機能を報告することとなる。

病床機能報告の見直し

病床機能報告についても見直しが行われ、これまでの「回復期機能」は「包括期機能」へと変更され、新たな病床機能は「高度急性期」「急性期」「包括期」「慢性期」の4区分となる。

「包括期機能」は、高齢者をはじめとする急性期患者に対し、入院早期からリハビリテーションや退院支援を実施し、早期の在宅復帰を支える「治し支える医療」を担う機能として位置付けられている。

地域特性に応じた医療提供体制

地域が抱える課題は全国一律ではない。大都市部では高齢者人口の増加にともなう医療需要への対応や高齢者救急体制の充実、医療機能の集約・再編が課題となる。一方、地方都市では医療需要への対応と医療従事者確保を両立させる必要があり、人口減少地域では医療資源の維持そのものが課題となる。

そのため、オンライン診療や巡回診療の活用、広域的な医療連携など、地域の実情に応じ

た柔軟な対応が求められている。

構想区域の見直し

構想区域についても見直しが進められる。

従来は二次医療圏を基本としてきたが、人口減少地域では区域内だけで医療を完結することが難しくなることから、住民の医療アクセスを確保しつつ、構想区域の広域化や都道府県境を越えた連携も検討されることとなった。

入院医療の方向性

入院医療では、急性期拠点機能を担う医療機関を中心に、高度で専門性の高い医療の集約化を進める一方、地域で頻度の高い手術や一般的な急性期医療は適切に分担し、医療資源を効率的に活用することが求められる。

また、高齢者救急では、入院直後からリハビリテーションや退院支援を開始し、在宅医療や介護との円滑な連携を図ることが重要となる。

外来医療の充実

外来医療では、休日・夜間診療体制の確保や機能分化を進めるとともに、人口減少地域においても受療機会を確保するため、オンライン診療や巡回診療の活用を推進する。

また、医科・歯科・薬局が連携する「医歯薬連携」を進め、患者を切れ目なく支える体制の充実が図られる。

在宅医療・介護連携の推進

在宅医療・介護連携についても、新たな地域医療構想の重要な柱である。

慢性期医療の受け皿として、在宅医療を担う診療所と病院が平時から情報共有を行い、介護老人保健施設や介護医療院、訪問看護、行政など多職種が連携することで、退院から在宅療養まで切れ目のない支援体制を整備することが求められる。

また、高齢者施設入所者が必要な医療を適切に受けられる体制づくりも重要となる。

医療人材の確保と育成

生産年齢人口の減少にともなう医療人材不足への対応も重要な課題である。地域医療構想では、医師確保計画との連携を図りながら、大学病院や急性期拠点病院による人的支援、人材育成、医師派遣など、地域の実情に応じた協力体制を構築することが求められている。

地域医療構想調整会議の役割

新たな地域医療構想を実効性あるものとする

ためには、地域医療構想調整会議の役割がこれまで以上に重要となる。

都道府県が構想策定と推進の主体となり、市町村は住民に最も近い立場から医療・介護連携を推進する。大学病院や医師会をはじめとする医療関係者は主体的に協議へ参画し、地域全体で医療提供体制を検討していく必要がある。宮崎県では二次医療圏ごとに地域医療構想調整会議が開催されている。この会議の議長を郡市医師会会長が務め、県医師会も地域医療構想アドバイザーとして臨んでいる。

また、住民の理解を深めるため、情報公開や説明会、パブリックコメントなどを通じた住民参画も重要である。

今後の展望と持続可能な地域医療

今後は、ますます「地域における面としてのかかりつけ医機能」の発揮が期待され、医療機関同士の連携が重要となってくる。高度医療については限られた医療資源を有効活用するため集約化を進める一方、高齢者救急や日常診療、在宅医療については地域に密着した医療機関が重要な役割を担う。

重要なのは競争ではなく、それぞれの医療機関が地域の中で果たす役割を共有し、相互に補完しながら持続可能な地域医療提供体制を構築することである。

2040年を見据えた新たな地域医療構想は、人口減少・超高齢社会に対応し、地域の実情に応じた医療と介護の連携を強化しながら、誰もが安心して必要な医療を受けられる持続可能な地域医療の実現を目指すものである。

おわりに

今年1月から3月にかけて「かかりつけ医機能」の報告があった。県内すべての医療機関が対象となっている。これから毎年の報告となる。今年10月より「医療機関機能報告」が始まる。

地域の住民が誰一人困ることがないように、診療連携・病診連携・医療介護連携等により「地域における面としてのかかりつけ医機能」を発揮していくことがますます重要となってくる。

当然だが、新たな地域医療構想を実現していくためにも医療機関の安定した経営が不可欠である。今後とも診療報酬の適切な改定、各種補助金の充実を求めていかなければならない。日本医師会とともにその役割を果たしていきたい。

随 筆

スポーツ談義 「空手」と「テニス」

宮崎市 おおつか杉田眼科 ^{すぎ}杉 ^た田 ^{あらた}新

小さいころから運動は苦手であったが、これまでに熱中したものがある。「空手」と「テニス」である。

空手は大学学生時代の6年間熱中した。高校時代に半年間、町道場で空手を習っていたが、そのときは全く上達しなかった。本格的に空手を始めたのは大学に入学してからで、なぜか夢中になった。1日2時間の空手の練習はきつかったが、同級生が喫茶店やボーリングなど遊びに行っても、部活を止めようとは思わなかった。当時、空手部は人気があり、同級生の半分以上は空手部に入部したが、皆長続きしなく、6年間続けたのは自分1人であった。

空手の戦歴は西医体は団体戦6連覇、九山は団体戦6連覇、すべて完全優勝で西医体、九山の医大大会では1度も負けることはなかった。当時医大大会は団体戦のみで個人戦は行われていなかったの、これは団体戦での戦歴である。年に1回、福岡の九電体育館で開催される全九州学生空手道選手権（全九州）は各大学全学部の学生が7人、大学の代表として選ばれて参加するが、医学部単独で出場して、優勝したこともある。医学部単独での全九州優勝は初めてとのことで、地元の新聞には大きく取り上げられた。医学部は講義と実習が忙しく練習時間

が他学部の学生に比べて少ないが、その分、土曜日、日曜日はほとんど毎週、近くの公園または大学の空手道場で練習していた。夏休みに実家に帰ったときは、毎日5時間巻き藁を叩いて拳を鍛えていたが、将来外科医になったときに手術の手が震えると聞いて巻き藁を叩くのは止めた。毎年8月夏休みに行われる佐賀県嬉野での1週間の合宿は地獄のきつさであったが、合宿参加後は確実に成長できた。空手は素足で動くので、誰も信用しないが、足の裏には、いつも足の裏と同じ大きさの豆ができて痛かった。空手は和道流3段で少しは強いと思っていたが、家庭内では一番弱く、全く役に立っていない。眼科開業後にもう一度、得意の回し蹴りを



全九州制覇時の空手部メンバー

前列の向かって左から2人目が私で、後列の左から2人目は空手部の監督（当時）、3人目は和道流の師範（当時）。

鍛えようとサンドバッグを買ったが、足が全く上がらずに完全に諦めた。

テニスは大学解剖教室時代に覚えたもので、初めはいやいや、仕方なくしていたがいつの間にか夢中になっていた。解剖教室には眼科教室から走査電子顕微鏡の研究のために学内留学したが、当時の解剖教室の3本柱は山登りと温泉巡り、テニスで、テニスをしないと走査電子顕微鏡は教えてもらえなかった。当時解剖教室には最新の高分解能走査電子顕微鏡があったので、どうしても走査電子顕微鏡の技術を習得したかった。解剖教室の教室員は全員テニスきちがい、テニス部の学生より熱心で、学内では解剖教室ではなくテニス教室と呼ばれていた。解剖の仕事はテニスの合間にしていた。テニスは走査電子顕微鏡の技術を教えてもらうために

仕方なく始めたものであるが、そのうちになぜか教室一のテニスきちがいになっていた。解剖教室の医局旅行は年6回、いつも温泉とテニスができる場所が選ばれていた。テニスの試合の前日は天気が気になり、緊張と楽しみで寝れないこともあった。解剖教室への学内留学は2年間の予定であったが、よほど居心地がよかったのか結局7年間在籍した。

テニスは全くの素人で、テニスの戦歴は大きな大会では何もない。テニスは解剖教室を辞めた後も眼科開業後も続けていたが、3年前に骨盤骨折をした後は休止している。解剖教室では、走査電子顕微鏡の最新技術の習得という本来の目的は達成できなかったが、いいテニス仲間に出会えて本当に運がよかった。

ご 案 内

宮崎県医師会親善ゴルフ大会

県医親善ゴルフ大会を本年は下記の日程で開催いたします。ぜひ会員の先生方お誘い合わせのうえ、ご参加いただきますようお願いいたします。

なお、開催案内は別途お送りいたします。

と き 令和8年11月3日(火)
ところ ハイビスカスゴルフクラブ
宮崎市佐土原町大字下田島21085-1

(担当 総務課)

随 筆

高校野球大好きドクターVol.3～南九州編～

宮崎^{やま}市^だ 山^{たく} 田^や 琢^や 也

敵将が脱帽した打棒

都城6－4足利学園（1979）

1番・鎌田，3番・与那城のホームラン攻勢。試合後の談話で向こうの監督さんも驚く打撃，川野監督の攻撃野球だ。

悲劇的ゆえ記憶には残る

日向学院3－4旭川大高（現 旭川志峯）

（延長13回逆転サヨナラ 1980）

県大会決勝，甲子園初戦ともテレビで観た。県決勝は延岡高校とで，延高も尾崎という右のいいピッチャーだった。学院は若松投手，南捕手。13回裏はキョクダイ（旭大）の迫りくる圧がなんともコワく悲劇的な結末となった。

三原武博監督（現 県高野連顧問，解説者）率いる日向学院は1987春選抜にも出たが（甲子園1勝），このときの3番ショート上田選手と小学生時（学校は別）同じ書道教室だった。都城泉ヶ丘高の大宅多聞先生（おおや たもん）の教室で，上田くんの他長峯くんというこれまた同学年生もいて，のちに都城市長，国会議員となられる長峯誠氏だった。お二人とも私は話したことはなく，向こうお二方とも私のことは知らないか憶えていないと思うが，のちの主力レギュラーで出る甲子園球児や，首長さん，国政に携わる先生がいたとは，なかなか多士済々な書道教室だった。悲劇や書道教室ということでもう一話。

都城0－1PL学園

（延長11回サヨナラ 1984春 準決勝）

前年秋に佐賀商，沖縄水産，佐世保実を破り九州王者。選抜でも和歌山工，私神港（現 神港学園），愛工大名電を破りベスト4。

PLの先発は桑田ではなく，都城の大型左腕エース田口と同じ姓の田口という右投手だった。都城を田舎の学校とナメてやがるのかと

私はカチンときたが，試合後の談話で田中幸雄（2番遊撃・新2年生）が「（相手先発が田口投手で）腹が立った」とコメントしていたのを聞き，同感だったため嬉しかったし，思わず笑った。実は序盤しか観れず，書道教室へ出かけねばならずラジオ録音をセットして行った。家にビデオというものがなかった。少し横道に逸れるが，鹿児島県指宿市の関南陽先生という厳しい先生だった。宮崎県から転入してきた坊やぐらいに思われていたのか，私には優しかった。話を戻そう。書道教室から帰ると試合は終わっていた。11回までもつれ込み0－1でサヨナラ負けの善戦だったことにまず驚き，隈崎右翼手の落球エラーによる決着だったことにも驚き，そして心を痛めた。録音テープで最後の場面を何度も聴いた。当時の選抜大会歌は，今の3代目「今ありて」の前の，2代目「陽は舞い踊る甲子園」で，これもなかなかよかった。

“ミスターファイターズ”田中幸雄さんの東スポ連載や，YouTubeデーブ大久保チャンネルに招かれた田中幸雄さんの一連の話をみて，ますますファンになった。

投手力 対 りんごの名産地

延岡商3－0丸子実（現 丸子修学館 1985）

佐土原3－1塚原青雲（現 松本国際 2004）

都城商2－1岡谷工（延長12回サヨナラ 1981）

好投手のチームは，甲子園への道が拓けるし，いずれも戦前予想では難敵と目されていた林檎の名産地長野勢からも勝利をもぎ取ってくる。丸子実，塚原青雲は強打警戒だったし，岡谷工は“七色の変化球”右の金丸投手がいた。延商は花田，佐土原は左の金丸，右の黒木という好投手が力を発揮し，都商は黒原というアンダーハンドが粘投した。

この佐土原と同様に、2人(以上)のいい投手がいた例では、1986日南高校は左の高須賀、右の岡崎、2009都城商(後述)は右の新西、左の藤本、2013重本監督率い全国準優勝の延岡学園は左の横瀬、右の奈須、井手を揃えていた。

宮崎南8-4弘前工(青森)(1988)

林檎の名産地との試合をもう一つ。宮崎南・蛸原も右の好投手。

日向の国のIKEDA

1989日向高校は好投手 織田^{おりた}もいたが、その打棒が席卷したあの夏は、全国大会で例えたら池田高校(徳島)が登場したときのようなセッションだった。

延工はある意味、明德や大阪桐蔭みたい？

延岡工8-1東海大四(現 東海大札幌)(1981春)

延岡工4-3日大東北(福島)(1987)

延岡工2-1郡山(福島)(延長11回サヨナラ 1992)

延岡工5-4秋田経法大付(2002春)

1987はユーティリティな柳田、2002春は七條投手を擁するなど春夏4回の甲子園出場で延工は、なんと初戦負けがない。

『熱闘甲子園』は宮崎でも観れた

高校・大学のときも宮崎にテレ朝系はなかったが『熱闘甲子園』が翌朝の6時台に確かMRTであり、欠かさず観ていた。

西日本短大付(福岡)(1992)全国制覇の夏は途中、欧州貧乏旅行で出国したが、帰国してから録画分をすべて目を通した。

コバニシ旋風の正体

1993笹山を擁し甲子園初出場ベスト8の小林西。1回戦は春の東北王者 学法石川(福島)に九回二死無走者から逆転サヨナラ。2回戦は好投手・中村隼人を擁し春選抜8強の長崎日大、3回戦は春の四国王者 高知商を撃破。準々決勝は金子誠(WBC 2026 侍JAPANコーチ)の常総学院(茨城)に九回二死2点ビハインドを追いつき、あわやという見せ場まで作った。このチーム秋の国体で、春日部共栄(埼玉)、市立船橋(千葉)、三本松(香川)を連破、決勝で修徳(東京)に敗れるも準優勝。甲子園での旋風は勢いだけとかフロックではなかったようだ。

日南学園 参上

Vol.1の県勢8選の

⑤ 日南学園-帝京(1995)

⑧ 日南学園-桐光学園(2007)

⑤はいろんな意味で“激闘”だった。お互い

さまなかかもしれないが、帝京のラフプレーが目につくし、戦意をはぐらかすような猫の目継投(これは合法的な作戦)されテレビの前で頭に来ていた。

あの帝京-智弁和歌山(2006)、帝京-佐賀北(2007)を演じた中村晃選手、杉谷拳士さんは大ファンなので、帝京大嫌いとか帝京憎しということではないので誤解なさらず。第63回MRT招待高校野球(2026)でも来宮してくれた学校だ。

⑧はNHKテレビ実況は小野塚康之アナだった。一方、この試合を観た高嶋(智弁和歌山)監督が「日南(学園)は優勝する力がある」と言ったという話もある。確かに魅力的な代で私の日南学園好きな代ベスト4(2001、2007、1995、1999)に入る。

宮崎勢のアップセット

① 都城商4-1智弁和歌山(2009 3回戦)

② 都城4-0沖繩尚学(1999 2回戦)

③ 都城泉ヶ丘2-0桐生第一(2007春 1回戦)

好左腕・岡田の智弁を倒した都商は同校2度目の8強。②はセンバツ覇者を“サイドハンドの本格派”安田が完封。沖尚の左腕・比嘉(公也さん)は現在、母校の監督さん。

“薩摩藩”の名将 三羽鳥

アップセットの3校が都城勢になった。都城市、鹿児島県とも住んだが、中学の2年間で過ごした鹿児島は野球熱・ソフトボール熱の非常に高い土地柄だ。1983のオフシーズンにMBC(南日本放送)ラジオ番組で、鹿児島実・久保、鹿児島商工(現 樟南)・杵山、鹿児島商・塩瀬 いわゆる鹿児島御三家の名将である監督さんたちに、どうしたら鹿児島の野球が強くなるか、全国制覇への道が拓けるかを問うという特別番組があった。お三方からいろんな提言がなされ、本格派投手を軸に、秀でた投打のバランスがとれたチームの構築というような結論だった。こうした熱意のある取組みがほどなく結実し1984は増永、1985は長浜といういずれも右の本格派を擁し鹿商工が夏8強、1986夏は右腕の中原に打線も噴火で鹿商が4強、1990投の上園、打の内之倉という両輪で春夏とも8強からの、1991は竹脇、俣瀬、味園が3年になり春8強 夏4強と鹿実の黄金時代、そして1994夏は福岡・田村のバッテリーで樟南(旧 鹿商工)が準優勝、1996春は下窪-林川のバッテリーで遂に鹿実がテッペンを獲る。

(Vol.1 令和7年10月号, Vol.2 令和8年5月号)

随 筆

ちっちゃん私

たに ぐち じ ろう
宮崎市 谷 口 二 郎

最近胃の調子が悪い。胃がいつもシクシク痛むのだ。夜中も寝ているときに急に刺しこむような痛みが走る。胃薬を服用してもその痛み、不快感が続く。また飲み込むときに飲み込みにくく、何か引っかかったような感じである。少なくとも普通の状態ではない。しばらく様子をみていたが、思い切って胃カメラの検査を受けることにした。

2年前人間ドッグを受けた。すると「食道のところに憩室があり、その周りがちょっとおかしいので試験切除します」。NOとも言えないので、お願いすることにした。何か所か試験切除しますとのこと。すべてが終わり胃カメラが鼻から引きぬかれると、ようやく終わったという安心感と試験切除の検査結果が気になった。先生が「やはりちょっと心配なので大きな病院に紹介します」と紹介状を手渡された。

さて、その日が来た。一人ではとても怖いので家内と一緒にいった。待っている間も心配で心配で胸が張り裂けそうであった。検査が終わり、ほっとしていると「結果は1週間後に分かりますので、1週間後においでください」と予約票を手渡された。

そして1週間後。ドキドキしながら病院に行った。心配なので家内と一緒にだ。診察室に入ると先生がパソコンの画面を見ながら、ちょっと間をおいて「大丈夫みたいです」と一言。よかった！ 10年ぐらい若返った気がした。患者さんはいつもこんな気持ちでいるのだろうか、ふと患者さんのことを考えていた。

例えば、膣から出血したと、患者さんが来院されるときは、当然、子宮頸がんの検査をする。「1週間後結果が分かりますから、おいでください」と、1週間後に来院してもらおうの

だが、みんな石像みたいに硬まった表情で来られる。

「異常がなかったの、また1年後に診ましょう」と言う。「先生が仏様に見えます。本当にありがとうございます」と、両手を差し出される。今まではそんな大げさだなと思っていたが、その気持ちがよく分かった。

前回の胃カメラ検査から2年。こんな症状がいろいろあるので絶対検査は受けないといけないうらうと思ひ、胃カメラの予約をとった。そのクリニックは麻酔をしての口からの胃カメラだというので、検査に関しては痛みが生じる必要はなさそうだ。しかし来院時は必ず付き添い者が一緒に、車を自分自身で帰るとき運転はしていけないと、口酸っぱく言われた。渡された紙には、食事は前日夜8時まで。水分は水、お茶、スポーツドリンク飲料などは検査直前まで自由にお飲みくださいと書いてありほっとした。というのも私は夜間に喉が渇き水を飲む習慣があるからである。

さて、前日、胃痛が激しく、嚥下困難の症状、前回の検査を指摘されたことなどを合わせて考えると、きつとかなり進行している食道がん、もしくは胃がんだらうと診断され、即入院、手術になるだらうと勝手に判断した。そうすると好きなモノが食べられなくなる。私の唯一の楽しみがなくなるかもしれない。

そう考え、せめて前日に食べたいものを食べておこうと決心した。そこで買い物に行くことにした。食べたいモノ。それは牛肉。いつもはグラム800円ぐらいのを買って食べているが、今夜は最高級のものを買おうと決めた。高級肉を売っている肉屋に行き、その中から品選びをすることにした。すると松山牛を見つけ

た。この肉は都城近くにある三股町で飼育されている特別な牛で、高い評価を受けている。ただし、飼育している数が少なく、市場にはほとんど出回らない牛肉なのである。これだったら、きっと間違いなく美味しいだろうと、それを買うことにした。すると100グラムあたり1,800円という値札が貼ってある。いつもの倍以上もする。そんな高級なものを食べていいのか、自問自答を繰り返した。なかなか買う踏み切りがつかない。ショーケースの前を何十回も行き来した。しかし、ついに決めた。買おう。もし手術となれば一生食べられないかもしれないのだ。そんな悔いを残したくない。

思い切って「これください」と店員に声をかけた。「何グラムにされますか？」と尋ねられ、「え〜と、え〜と、え〜と」と3回繰り返した。そして、「100グラムください」。「かしこまりました。それではこれをスライスしてきますので、少々お待ちください」と、大きな肉の塊を担いで奥の方に消えて行った。もう頭の中は肉のことだらけである。

しばらくすると、店員が「100グラムということでございましたが、スライスしましたら123グラムになりました。いかがされますか？」23グラムオーバーか。グラム1,800円だから2,200円ぐらい。これに消費税がついて2,400円ぐらいか。100グラムで2,400円。高い！ そう思った。店員は私の返事を首を長くして待っている。早く答えなきゃ、と思うがまだ迷っている私がいる。それを買って帰り家内に話したらきっと怒られるだろうな。

「そんな超ゼータクなモノ買うなんて、何を考えてるの！ だって年金生活者なのよ、あなたは！」と言われそうなシチュエーションが頭の中に浮んできて、なかなか返事ができないのだ。店員は待ちくたびたような顔で「早く決めてくださいよ、お客さん」という表情をしている。どうしよう。清水の舞台から飛び降りる気持ちに追い込まれていた。一呼吸整えた後で、「じゃ、それをお願いします」店員に聞こえないような小声で返事した。それを大事に大事にレジ袋に入れ、持ち帰った。

早速その話を家内にした。すると意外にも「立派な人がそんなことで迷うことじゃないでしょ！ 世の中にはもっと大変な選択があるのよ。あなたはちっちゃな人ね。そんなことで迷うなんて」。値段のことは言われないでほっとした。家内はその肉を無造作にフライパンに乗

せ焼くと、「さあ、早く食べてよ。洗い物をして、早くお風呂に入りたいんだから…」。私は「ハイ」と言って急いで食べた。

次の日、胃カメラ検査が無事終わり、先生から説明があった。「胃も食道も全く異常ありません」。よかった!! と万歳をしたくなったと同時に昨日のグラム1,800円の高級肉を食べたのがもったいない気もした。人間って本当に勝手なものだ。自分の小っちゃさを痛感した1日だった。

話は変わるが、10年ぐらい前、胃カメラ検査したときの話である。人間ドックの健診のため近くの胃腸科を受診した。検査終了前「大丈夫です。心配ないと思います。今から胃カメラを抜いていきます」。少しずつ胃を圧迫していた胃カメラが、もうすぐ抜けそうになったそのときである。先生が「あっ！」と大声を上げた。えっ、何か重大な箇所が見つかったのかとドキドキしていると、すぐには抜かないで一呼吸あって抜かれた。

一体何が見つかったんだ？ よほど珍しい「がん」か腫瘍か。多分そんなものが見つかったのに違いないと不安に思っていると「ほう、私今まで胃カメラ40年もやってるけど初めてだよ！ こんなもの！」。一体なんなんだと身を乗り出すと、その指先には何かモゾモゾと動くものが。「それなんですか、ミミズみたいに動いているのは？」と尋ねるとアニサキスだという。食道下部のところにへばりついていたらしい。少しボーとした目でよく見ると、確かにそれらしいきものだ。昨夜、そういえばサバの刺身を食べたんだった。だけど美味すぎてアニサキスなどそのとき考えてもいなかった。

そのとき思い出した。知り合いの先生が転げるような猛烈なお腹の痛みがあり、夜中に診察を受けた。するとアニサキスが胃の中において、除去すると嘔みたいに痛みが治まったという。もしあと数時間早く食べていれば胃カメラ検査の前に救急で胃カメラを飲むはめになっていたかもしれない。そう考えるとラッキーだったと神に感謝した

そのモゾモゾとお尻をふっているアニサキスを小さなビンに入れてもらい、お土産として持ち帰った。それは今も机の上にある。ただしモゾモゾ動いてはいないが…。

随 筆

九州オルレ 宮崎・小丸川コース

延岡市 井上病院 いし ばし とし ひで
石 橋 俊 秀

「オルレ」とは、もともとは「通りから通じる狭い路地」という、韓国済州島の言葉が語源だ。オルレの魅力は海岸線・山などの自然、民家の路地などを身近に感じ、自分なりにゆっくり楽しみながら歩くことだ。似たような言葉としてイギリス発祥の「フットパス」がある。

このコースは木城町比木神社からスタートし、高鍋町の^{しぎの}浜をゴールとしたもので、距離：14.3km、予想所要時間：4～5.5時間、難易度：中級のコースだ。スタートとゴールは反対でも構わない。※（ ）はスタート地点からの距離。

カンセ（馬のオブジェ）からスタートし、馬の鼻先の方角に進みます。その後は、ある程度の間隔設置してある「水色とピンクのリボン」を目印に進む。また、分岐点には木製の矢印や石・ブロックにペイントされた矢印が設置してある。

比木神社

9:10に神社前のカンセから頭部方向（神社内）に進んだ（写真1）。お賽銭をあげてお参りし、リボンを見ながらのんびりと小丸川^{おまるがわ}沿いに歩いた。この比木神社には朝鮮半島の百済国から亡命した「^{ふくちおう}福智王」が祀られている。

城山公園

次の目標は「^{じょうやま}城山公園」だ（3.4km）。小丸



写真1 比木神社のカンセ

川を渡って川沿いに南下した。途中から人通りの少ない小路や山道を歩いた。青い矢印の示す方向に行ったら、目印のリボンが消えた。仕方なく、地元の人に尋ねた。『この山道を上に登ると城山公園に行けるよ』と教えてもらった。どうにかこうにか、10:10ごろに城山公園に到着した（ここまでにスタートから約1時間掛かった）。この場所は昔お城だった。地区では高い方で標高60mの高台にある。城を模したメロディ時計から1日4回音楽が流されるそう。タイミングが合わなかったで聞けなかったのが、残念だった。

木城温泉館湯らら

次の「木城温泉館湯らら」（4.2km）に行くのも、やはり山越えだったので20分も掛かってしまった。そこからは、カンセの頭方向＝小川沿いに下鶴公園を目指した（5.9km）。草ぼうぼうの道だったので、目印の矢印を見落とした。

引き返した頃から、両足のつま先と左大腿部が痛んできた。10:30ごろ持田古墳群が見えてきた（10.1km）。

持田古墳群

5～6世紀にかけて築造された古墳が大小合わせて85基あるそうだ。中でも前方後円墳が目立っていた（写真2）。ヒマワリが植えてあった。なぜか、カボチャも生えていた？



写真2 持田古墳群

そこを下ると高鍋大師はすぐだった（10.8km）。町の花として白やピンクの「タカナベノカイドウ」の木に説明写真が添えられていた。

高鍋大師

持田古墳群の霊を慰めるために故 岩岡保吉氏が刻んだ石像が700体以上あるそうだ。大きい物は高さが10m以上ありそうだった（写真3）。そこから再び山道や溪流を下って「大年神社」に向かった。12:30ごろやっと到着した（13.4km）。



写真3 高鍋大師

大年神社

ここには、「福智王子の母＝之伎野妃^{しぎのひ}」が祀られているそうだ。そのため、毎年11月4日に百済王族亡命伝説に由来する大年下り（福知王のご神体が、高鍋町の大年神社に祀られている母君に対面する祭）が行われている。

すぐ側を線路が通っていた。それを目印に南下し、「大寺踏切^{おおてら}」を渡って真っすぐ進むと、12:50ごろに「鳴野の浜」に到着した（14.3km）。合計、3時間40分掛った。

鳴野の浜

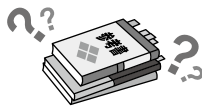
その日は風が強く、波が高かったので、鳥は1羽もいなかった。ゴール地点の「鳴野の浜」には「鳴がたくさんいる」という意味もあるが、当地では福王の母の名前が由来らしい。

踏切の所にタクシーを呼んで、木城町比木神社に帰った。リボンの表示がなかったり、矢印やリボンの支持棒が倒れていたりして、コース維持に苦勞した。

ゴールした後、「木城温泉館湯らら」で入浴した（600円）。室内に冷水・温水・高温水の浴場があった。ジャグジーや肩の高さからの滝打ちも楽しめた。外には、子どもが喜びそうな滑り台、歩くプールやサウナも設置されていて、大いに楽しんだ。更に、ここでしか食べられない「青唐辛子餃子^{あおとうがらしぎょうざ}」を注文したら、ちょっと刺激が強かったが美味しかった。オレンジジュースを注文し、辛さを打ち消した。

木城えほんの郷

帰りに木城町の「木城えほんの郷^{さと}」によった。ここでは毎月のようにいろんな催しが開催されている。私が行ったときは、田島桎彦^{ゆきひこ}氏の作品と制作過程が展示されていた。



あなたできますか？

－令和7年度 医師国家試験問題より－

(解答は39ページ)

1. 4歳の男児。けいれんを主訴に救急車で搬入された。搬送される2時間前に、両親に連れられて居酒屋で夕食を食べていた。突然、全身のけいれんを認めたため父親が救急車を要請した。病院到着時、けいれんは持続していた。体温36.5℃。心拍数170/分、整。血圧98/50mmHg。呼吸数40/分。SpO₂91%（マスク5 L/分 酸素投与下）。過去に食事によるアレルギー歴はない。呼吸音の減弱や喘鳴を認めない。皮疹を認めない。
男児が摂取していた食事のうち、けいれんの原因で最も考えられるのはどれか。
 - a 枝豆
 - b 銀杏
 - c マグロ
 - d 焼き鳥
 - e ゆで卵
2. ヒト免疫不全ウイルス〈HIV〉が主に感染する細胞はどれか。
 - a 好酸球
 - b 好中球
 - c 好塩基球
 - d リンパ球
 - e Kupffer細胞
3. 成人眼球で正視の眼軸長に最も近いのはどれか。
 - a 14mm
 - b 24mm
 - c 34mm
 - d 44mm
 - e 54mm
4. 地球環境の変化により懸念されているのはどれか。
 - a 気候変動によるデング熱の増加
 - b 海洋汚染によるクレチン症の増加
 - c 酸性雨による抗酸菌感染症の増加
 - d オゾン層の破壊による呼吸器疾患の増加
 - e 森林面積の減少によるアレルギー疾患の増加
5. 2023（令和5）年国民生活基礎調査で高齢者世帯のうち単独世帯の割合に最も近いのはどれか。
 - a 10%
 - b 20%
 - c 30%
 - d 40%
 - e 50%
6. 健康日本21（第三次）で定義されている「生活習慣病のリスクを高める飲酒量」で男性の1日平均純アルコール量の下限に相当するのはどれか。
 - a 焼酎1合（180mL, アルコール濃度35%）/日
 - b 清酒1合（180mL, アルコール濃度15%）/日
 - c ワイン1杯（120mL, アルコール濃度12%）/日
 - d ウイスキー2杯（1杯45mL, アルコール濃度43%）/日
 - e ビール中瓶2本（1本500mL, アルコール濃度5%）/日
7. 「普通の明るさでもまぶしく感じ、目を開けているのがつらい」と訴える患者で、障害されている可能性の高い脳神経はどれか。
 - a 視神経
 - b 動眼神経
 - c 滑車神経
 - d 外転神経
 - e 顔面神経
8. 手段的日常動作〈IADL〉の評価項目はどれか。
 - a 更衣
 - b 整容
 - c 入浴
 - d 歩行
 - e 服薬管理
9. 我が国の人工妊娠中絶で正しいのはどれか。
 - a 母子保健法に基づく。
 - b 胎児異常も中絶の適応である。
 - c 年間10万件以上実施されている。
 - d 本人の同意のみで実施可能である。
 - e 経口中絶薬はすべての医師が処方できる。
10. 2歳の女児。意識障害のため救急車で搬入された。なかなか泣きやまないことに激昂した父親によって、肩を掴まれ何度も強く揺さぶられた。しばらくするとぐったりして意識がなくなったという。意識レベルはJCSⅢ-100で、全身に多数の熱傷瘢痕が散在し、新旧の皮下出血を多数認める。
この意識障害の診断で重要な診察部位はどれか。
 - a 咽頭
 - b 眼底
 - c 鼓膜
 - d 舌
 - e 鼻腔

エコー・リレー

(613回)

(南から北へ北から南へ)

パリの思い出

延岡市 岡村病院 おかむらじゅり
岡 村 樹 里

私の一番の趣味は踊ること、二番目の趣味は海外旅行へ行くことです。これまでに訪れた国は、トランジットを含めると20か国ほどとなります。家族と一緒に旅することもあれば、一

人旅を楽しむこともあります。

その中でも特にパリは大好きな街で、6度の渡仏経験があります。今は亡き祖母と出かけた初めてのフランス旅行では、いわゆるメジャーな観光スポット、ベルサイユ宮殿やルーブル美術館などを巡りました。友人との旅行ではパリディズニーランドに行きましたが、日本のような混雑はなく、アトラクションにもスムーズに乗れました。一人旅ではモン・サン・ミッシェルまで足を運んでみたり、パリ・オペラ座でバレエ鑑賞したり、時間がいくらあっても足りないほど充実した日々を過ごしました。

旅の途中とある書店で何かフランス語の本を買おうと思い店内を探し回っていたところ、日本の漫画コーナーを発見、そこで最初に目についた漫画本が「ドラえもん」でした。これなら私にも分かるかもしれないと思いページを開くと、ドラえもんの最初の吹き出しに「Bonjour Nobita」と書いてありました。日本語では「やあ、のび太くん」となるのですが、一度フランス語表記となると、ワイングラスを片手に持っていそうな、ちょっとオシャレなドラえもんに見えてきませんか？

今年はスリランカへ行ってきます。シギリヤロックに無事登頂できますように。そして楽しい思い出がまた一つ増えますように。

[次回は、延岡市の高見 諒太先生をお願いします]

ダイビングとの出会い

県立日南病院 産婦人科 あけのけいこ
明 野 慶 子

日南に赴任して5年が経ちました。綺麗な海が目の前にある地の利を活かし、スキューバダイビングを始め、あっという間にのめり込みました。オープンウォーターダイバーのライ

センス取得に始まり、潜水士の国家資格を取り、1級小型船舶免許を取り…。一面真っ青な景色の中、美しい魚影やサンゴに囲まれ、聞こえてくるのは自分の呼吸音だけ。海の中は陸上とはまったくの別世界が広がっています。水中独特の浮遊感は宇宙にいるような感覚で、何もかも忘れて夢中になれる瞬間です。お休みが取れば、日南はもちろん、九州・沖縄を中心にさまざまなところに潜りに行っています。場所が変わると出会える生き物がまったく違うところも面白いポイントです。ダイビングは自然が相手なので、波や風の具合によっては潜れなくなることもあります。偶然と幸運が重なって珍しい生き物に出会えたときの感動はひとしおです。最近はウミウシを探すのにハマっています。小さくてカラフルな海の宝石たち。海藻の陰に隠れているウミウシを見つけては、寄り目で観察してニヤニヤしながら写真に収めています。小さい生き物に限らず、ジンベエザメやクジラと出会うことも今後の楽しみです。ダイビングを長く続けられるよう、健康管理や体力維持には気をつけています。ダイビングされる先生方、ご興味のある先生方、いつかどこかの海でお会いしましょう。

[次回は、延岡市の山内 綾先生をお願いします]

メディアの目



看護師さんの姿に感銘

読売新聞西部本社 宮崎支局長
ほんぶ ようすけ
本 部 洋 介

西都市で私や母と同居していた父は2024年1月、誤嚥性肺炎による発熱のため救急搬送された。運ばれた市外の病院での入院生活は2か月に及び、後半の1か月は血圧低下などもあって私たち家族は終日、病室に入ることができた。私は仕事を終わると毎夜、病室に行き朝まで父のベッドのそばのソファで眠った。父は24時間体制で昇圧剤の投与や酸素の吸入を受けた。

医師の丁寧な診察に加え、感銘を受けたのは看護師たちの献身的な姿だった。夜中でもこまめに病室の様子を見に来て、丁寧にたんの吸引をしてくれた。鼻からチューブを入れる際にはいつも、「本部さんごめんね」と優しく声をかけてくださった。父が何かを言おうとすると口に耳を近づけて聞き、父の機嫌がよい日は「体調よさそうですね」と我がことのように喜んでくれた。そのたび父もうれしそうな表情を見せた。

父はこの病院での入院を経て、かかりつけの西都の病院に転院し、しばらくして亡くなった。87歳だった。転院した西都の病院でも看護師たちは父によく話しかけ、顔見知りの女性看護師は「あらー本部さん、久しぶりじゃがー！元気になるうね」と明るく声をかけてくださり、父も笑顔になった。最初の病院も含め、看

護師たちの丁寧で親切な仕事ぶりのおかげで、慣れない病院にいる自分も不安が消えていった。

少子化の影響もあり、看護師もなり手不足の傾向にあると聞く。厚生労働省によると、全国の看護専門学校（3年制）の昨年度の入学者は約2万人。定員に対する充足率は8割を下回った。一方で、高齢者の人口増加は2040年ごろまで続き、医療・福祉分野での人材確保は重要な課題だ。

宮崎県看護協会の久保敦子会長に話を伺うと、「看護師は患者さんのベッドサイドで一番近くにいた存在」と言う。患者の様子をよく観察し、痛がっているときは体をさすり、声をかける。そして患者の何げない一言を聞き逃さず、必要があれば医師や薬剤師と組むチームで共有する。病気のため、茶わんに入った白米を食べられないという患者の言葉に看護師が反応し、病院の栄養士に相談して小さなおにぎりにしてもらったら、食べられたこともあるという。

「患者さんからありがとうと言われるのが何よりうれしい」と久保会長。そんな思いで力を尽くす看護師の皆さんの仕事の魅力を、メディアの一員として伝えていきたい。

身近なお困りごと相談室

本コーナーでは、「医療機関での身近な疑問や質問」について、各分野の専門家が回答いたします。

第61回 SNSトラブルと職員規律

**Q.**

当院職員が個人のSNSにおいて、勤務先を特定できる形で業務への不満や患者対応に関する投稿を行っていることが判明しました。患者個人を特定できる情報は含まれていないものの、医療機関の信用を損なう可能性があり、院内でも問題視されています。このような場合、医療機関として投稿の削除指示や懲戒処分を行うことは可能でしょうか。また、職員の表現の自由との関係、就業規則やSNS利用規程整備の必要性、トラブルを未然に防ぐための実務的対応についてご教示ください。

まず、結論として、職員が個人のSNSに勤務先を特定できる形で業務上の不満や患者対応に関する内容を投稿した場合、医療機関としては、内容に応じて削除を求め、注意・指導を行い、場合によっては懲戒処分を検討することが可能です。

なぜなら、医療機関は、一般の事業者以上に、患者との信頼関係や社会的信用の上に業務が成り立っています。そのため、患者個人を直接特定できる情報が含まれていない場合でも、勤務先が明らかかな状態で、患者対応を揶揄したり、院内事情を不用意に発信したり、医院に対する社会的評価を低下させるような投稿を行うことは、職員としての服務規律や誠実義務に反する可能性があるからです。

確かに、職員にも私生活においてSNSを自由に投稿する権利があります。しかし、勤務先との関係を明らかにしたうえでの発信が、医院の信用や患者との信頼関係に影響を及ぼす場合まで、無制限に許容されるわけではありません。特に医療機関では、氏名を記載していなくても、診療内容、年代、受診日時、職業などの情報を組み合わせることで患者が推測されることもあり、慎重な対応が求められます。

実際に問題となる投稿を把握した場合には、まず投稿内容や公開範囲などを記録して事実確認を行い、そのうえで速やかに削除を求めることが適切です。悪質な内容、繰り返しの投稿、指導後も改善がない場合、医院の信用を大きく損なった場合などには、就業規則に基づく懲戒処分も検討すべきでしょう。

今後の予防策としては、就業規則の服務規律・懲戒規定を整備するとともに、SNS利用規程を設け、「患者・職員に関する情報を投稿しない」「勤務先に関する情報は一切投稿しない」「院内で撮影した写真や動画を無断で掲載しない」など、具体的な禁止事項を明示することが重要です。

医療機関としては、問題が発生した後に個別対応するだけでなく、日頃からSNS利用に関するルールを明確にし、定期的に職員へ周知・研修を行うことで、医院と患者双方を守る体制を整えておくことが望まれます。

A.

(回答 宮崎県医師協同組合 顧問弁護士
弁護士法人きさらぎ 代表弁護士 高山 桂)

<医療機関での身近な疑問、質問をお寄せください>

- 文字数：200字以内
- 質問はメール (genko@miyazaki.med.or.jp), FAX, 郵送などでお送りください。
※匿名での掲載になります。採否は広報委員会にご一任ください。

宮崎県感染症発生動向 ～7月～

令和8年6月29日～令和8年8月2日（第27週～第31週）

■全数報告の感染症

1類：報告なし。

2類：○結核14例（男性5例・女性9例）：保健所別報告数は【図1】，病型別報告数は【表1】，年齢別報告数は【表2】のとおりであった。

3類：○腸管出血性大腸菌感染症18例：保健所別報告数は【図2】で，患者が13例，無症状病原体保有者が5例であった。年齢別報告数は【表3】，原因菌は【表4】のとおりであった。主な症状として腹痛，水様性下痢，血便，嘔吐，発熱，溶血性貧血，急性腎不全，溶血性尿毒症症候群（HUS）等がみられた。

4類：○日本紅斑熱1例：都城保健所管内から報告があった。年齢は70歳代で，性別は女性であった。主な症状として発熱，頭痛，発疹，肝機能異常がみられた。

○レジオネラ症4例：宮崎市，都城，延岡，日南保健所管内から報告があった。年齢は70歳代が3例，80歳代が1例であった。性別は男性が3例，女性が1例であった。病型はいずれも肺炎型であった。主な症状として発熱，咳嗽，呼吸困難，意識障害，肺炎等がみられた。

5類：○アメーバ赤痢1例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は50歳代で，病型は腸管アメーバ症であった。主な症状として大腸粘膜異常所見等がみられた。

○ウイルス性肝炎1例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は30歳代で，性別は男性であった。病型はB型で，主な症状として全身倦怠感がみられた。

○カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症1例：都城保健所管内から報告があった。年齢は80歳代で，主な症状として尿路感染症がみられた。

○急性脳炎1例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は70歳代で，病原体はヒトヘルペスウイルス6であった。主な症状として意識障害がみられた。

○劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例：都城保健所管内から報告があった。年齢は60歳代で，主な症状としてショック，肝不全，腎不全，急性呼吸窮迫症候群，DIC，全身性紅斑性発疹，中枢神経症状がみられた。

○後天性免疫不全症候群1例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は30歳代で病型はAIDSであった。AIDS指標疾患は非ホジキンリンパ腫で，主な症状として発熱，体重減少，盗汗がみられた。

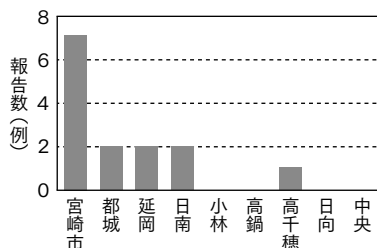


図1 結核 保健所別報告数(例)

表1 結核 病型別報告数

肺結核	6
肺結核及びその他の結核 (粟粒結核疑い)	1
その他の結核(リンパ節結核)	1
無症状病原体保有者	6

表2 結核 年齢別報告数(例)

年齢	報告数
20歳代	3
50歳代	2
60歳代	2
70歳代	3
90歳代	4

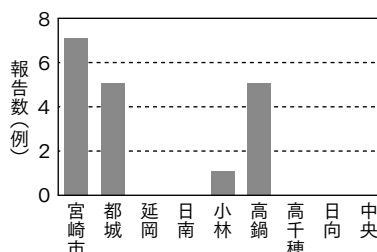


図2 腸管出血性大腸菌感染症 保健所別報告数(例)

表3 腸管出血性大腸菌感染症 年齢別報告数(例)

年齢	報告数
0～4歳	2
5～9歳	8
10歳代	1
20歳代	1
30歳代	1
40歳代	2
50歳代	2
70歳代	1

表4 腸管出血性大腸菌感染症 原因菌別報告数(例)

原因菌	報告数
O111 (VT1, VT2)	4
O26 (VT1)	2
O157 (VT型不明)	2
O157 (VT1, VT2)	1
O157 (VT2)	1
O血清群不明	8

表5 梅毒 病型別報告数

早期顕症梅毒Ⅰ期	3
早期顕症梅毒Ⅱ期	4
無症状病原体保有者	1

表6 梅毒 年齢別報告数(例)

年齢	報告数
10歳代	1
20歳代	3
30歳代	3
50歳代	1

表7 百日咳 年齢別報告数

年齢	報告数
5～9歳	1
10歳代	3
30歳代	1
40歳代	2

- 梅毒8例（男性5例・女性3例）：宮崎市（7例）、日向（1例）保健所管内から報告があった。病型別報告数は【表5】、年齢別報告数は【表6】のとおりであった。主な症状として初期硬結、硬性下疳、鼠径部リンパ節腫脹、梅毒性バラ疹、丘疹性梅毒疹がみられた。
- 百日咳7例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢別報告数は【表7】のとおりであった。主な症状として持続する咳、呼吸苦等がみられた。ワクチン接種歴は有りが1例、不明が6例であった。

■5類定点報告の感染症

定点からの患者報告総数（急性呼吸器感染症は除く）は1,897人（定点あたり109.2）で、前月の125%、例年（新型コロナウイルス感染症・急性呼吸器感染症は除く）の60%であった。急性呼吸器感染症の患者報告総数は5,790人（定点あたり206.8）で、前月の約135%であった。

前月に比べ増加した主な疾患は新型コロナウイルス感染症、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎及び流行性角結膜炎で、減少した主な疾患は手足口病であった。また、例年同時期と比べて報告数の多かった主な疾患は流行性角結膜炎であった。

新型コロナウイルス感染症の報告数は874人（31.2）で前月の約1.5倍であった。延岡（70.3）、日向（61.5）、小林（60.0）保健所からの報告が多く、15歳未満が全体の約8割を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は485人（32.3）で前月の約1.4倍、例年の約1.0倍であった。日向（100.0）、小林（84.0）、中央（31.0）保健所からの報告が多く、1歳から3歳が全体の約4割を占めた。

■病原体検出情報（微生物部）

★急性呼吸器感染症（Acute Respiratory Infection:ARI）

○急性呼吸器感染症（ARI）※¹サーベイランス検体について、急性呼吸器感染症サーベイランス遺伝子検査マニュアルに従い、検査を実施した。

検出病原体			検出数
インフルエンザ ウイルス	A型	AH1pdm09	0
		AH3	0
	B型	ビクトリア系統	0
		山形系統	0
新型コロナウイルス			12
RSウイルス	A型		0
	B型		2
パラインフルエンザ ウイルス	1型		2
	2型		0
	3型		1
	4型		0
ヒトメタニューモウイルス			11
ライノウイルス			11
エンテロウイルス			0
アデノウイルス			0
新型コロナウイルス・ライノウイルス			2
パラインフルエンザウイルス3型・ライノウイルス			1
ヒトメタニューモウイルス・新型コロナウイルス			1
検出せず※ ²			20
受付検体数			63

前月との比較

	2026年7月		2026年6月		例年との比較
	報告数 (人)	定点当 たり(人)	報告数 (人)	定点当 たり(人)	
インフルエンザ	16	0.6	2	0.1	
新型コロナウイルス※1	874	31.2	601	21.5	
RSウイルス感染症	74	4.9	67	4.5	
咽頭結膜熱	41	2.7	33	2.2	
溶レン菌咽頭炎※2	152	10.1	124	8.3	
感染性胃腸炎	485	32.3	336	22.4	
水痘	11	0.7	10	0.7	
手足口病	76	5.1	220	14.7	
伝染性紅斑	12	0.8	5	0.3	
突発性発しん	38	2.5	27	1.8	
ヘルパンギーナ	10	0.7	26	1.7	
流行性耳下腺炎	4	0.3	2	0.1	
急性出血性結膜炎	0	0.0	0	0.0	
流行性角結膜炎	98	16.3	50	8.3	★
細菌性髄膜炎	0	0.0	0	0.0	
無菌性髄膜炎	2	0.3	0	0.0	
マイコプラズマ肺炎	4	0.6	4	0.6	
クラミジア肺炎	0	0.0	0	0.0	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	0	0.0	0	0.0	
急性呼吸器感染症	5,790	206.8	4,303	153.7	

★例年同時期【新型コロナウイルス感染症流行前5年間（2015-2019）の平均】より報告数が多い

※1 新型コロナウイルス感染症

※2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

※1 急性呼吸器感染症（ARI）：咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上の症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例

※2 左記のいずれのウイルスも検出されなかった検体数を計上

	検出病原体	件
細菌	Salmonella Thompson (O7:k:1,5)	2
	EPEC (O153:HUT)	1
	MDRP	2
	EPEC (O128:HUT)	1
	Salmonella Miyazaki (O9:l,z13:1,7)	1
	EHEC (O157:HUT)	1
	EHEC (O157:H7)	1
	EHEC (O111:HNM)	4
ウイルス	Human herpes virus 6	4
	Coxsackie virus A6	1
	Rhinovirus	1
	Adeno virus 2	2
	Adeno virus 41	2
	Norovirus GII.3 [P12]	1
	Parvo virus B19	1
	Rhino virus A	1

■月報告対象疾患の発生動向〈2026年7月〉

□性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は32人（2.5）で、前月比89%と減少した。また、昨年7月（2.6）の約0.9倍であった。

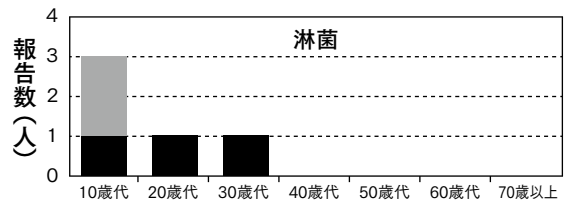
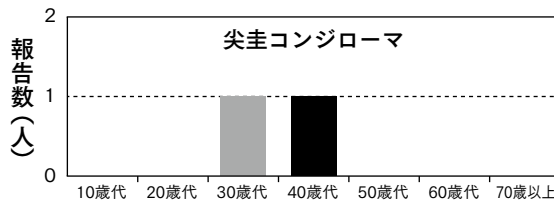
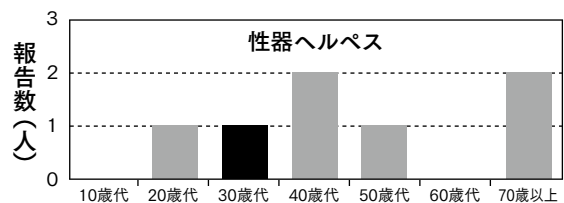
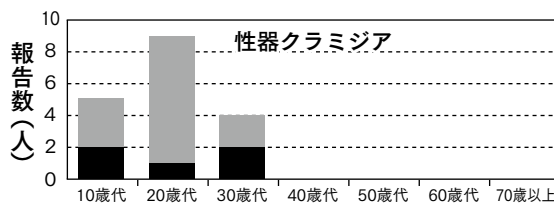
《疾患別》

○性器クラミジア感染症：報告数18人（1.4）で、前月の約1.1倍、昨年7月の約0.8倍であった。20歳代が全体の半数を占めた。（男性5人・女性13人）

○性器ヘルペスウイルス感染症：報告数7人（0.54）で、前月の約0.5倍、昨年7月の約0.8倍であった。（男性1人・女性6人）

○尖圭コンジローマ：報告数2人（0.15）で、前月と同率であった。（男性1人・女性1人、昨年報告なし）

○淋菌感染症：報告数5人（0.38）で、前月の約1.3倍、昨年7月の約1.7倍であった。（男性3人・女性2人）



■男 ■女

□薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は20人（2.9）で、前月比125%と増加した。また、昨年7月（2.0）の約1.4倍であった。

《疾患別》

○メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数20人（2.9）で、前月の約1.3倍、昨年7月の約1.4倍であった。70歳以上が全体の7割を占めた。

○ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告なし。

（宮崎県衛生環境研究所）

日赤だより

【日本赤十字社宮崎県支部】

赤十字と医療とのかかわり

日本赤十字社は、災害救護を活動の主要な柱のひとつに据えているほか、血液事業も展開しており、疾病の治療などに必要とする輸血用血液製剤を医療機関に迅速にお届けする体制を整えています。また、本県には施設がありませんが、全国で90の赤十字病院を運営し、地域と連携した医療提供の一翼を担っております。

皆さんおなじみの病院を示す地図記号には、十字マークが描かれています。これは、1887年に日本赤十字社が使い始めた世界共通の赤十字の形と、旧陸軍衛生隊のマークである五角形を組み合わせて作られたといわれています。このように、日本赤十字社の活動は、医療とは切っても切れない密接な関係を有しています。そして、そのルーツは、日本赤十字社の生みの親である佐野常民に始まります。

常民は、1822年に佐賀藩士の家に生まれます。実父は、藩の財政立て直しに尽力し、主として会計を預かる人物でしたが、常民は11歳の時に親戚で佐賀藩の外科医を務める佐野家の養子となります。佐野家のそばには好生館という医学館・医学寮がありました。これは、現在の佐賀県医療センター好生館につながる施設です。

藩校の弘道館で医術を学んだ常民は、江戸への遊学を経て27歳のときに、大阪に緒方洪庵が開設していた適塾に学びます。また、有吉佐和子さんの小説で広く知られるようになった医聖・華岡青洲が、現在の和歌山県紀の川市に開いた春林軒や、江戸幕府の蘭方医を務めた伊東玄朴の象先堂でも、最先端の医療を勉強しました。

佐賀藩では、全国的にも珍しい医業開業の免許制度が採用されており、佐野常民は養父とともに医師登録されました。しかし、明治に入って医師の国家試験が実施されるにあたり、開業していなかった佐野常民は、試験の免除対象とはならず、医師としては活躍していません。精錬所や灯台建設にかかわった技術者、あるいは佐賀藩海軍の基礎を築いた軍人としてのキャリアを発展させていくことになりました。

その後、1867年のパリ万博で赤十字に出会い、1877年の西南戦争で多くの負傷者を目の当たりにする中で、日本での赤十字活動に心血を注ぎます。八面六臂の活躍をする佐野常民の根底には、若き日に最先端の学問に触れた医療への思いが脈々と流れていたことなのでしょう。その創設者の熱い思いは、150年の時を経た今も、災害救護や血液事業などとして、私たちの活動に深く息づいているのです。

私たち日本赤十字社宮崎県支部の活動は、ご理解をいただいております皆様方からのご寄付により支えられています。宮崎に住むすべての方々への安心・安全を願う気持ちは、医師会会員の皆様方と共通です。今後とも温かいご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

(文責：事務局長 渡久山 武志)

「想いの力を、救う力に」 そう、「赤十字は動いてる！」

お問い合わせ・連絡先

日本赤十字社宮崎県支部

住所 〒880-0802 宮崎市別府町3番1号

電話 0985-22-4045 FAX 0985-22-4178

E-mail miyazaki-info@miyazaki.jrc.or.jp

各郡市医師会だより

延岡市医師会

あか す いくたろう
会 長 赤 須 郁太郎

令和8年6月25日の定時総会におきまして、延岡市医師会会長を拝命いたしました赤須郁太郎でございます。

このたび新執行部が発足し、多くの先生方のご協力をいただきながら、それぞれの専門性を生かして医師会運営に取り組んでおります。

新執行部の最重要課題は、2040年問題への対応です。今後、急増が予想される高齢者救急に対し、延岡市医師会病院を救急患者の受入れ拠点（ハブ病院）として活用し、初期診療後、適切な医療機関へ円滑につながり体制の構築を目指しています。

この仕組みにより、かかりつけ医や施設嘱託医の先生方は迅速な救急対応が可能となり、市内の有床診療所や病院においても、受入れ時期を調整した二次搬送により、診療への影響を抑えながら効率的な医療提供が可能になると考えています。

この構想の中核となるのが、延岡市医師会病院への「プライマリーケアセンター」の設置です。本構想については、令和8年7月開催の延岡西臼杵地域医療構想調整会議において協議を行い、令和9年1月の運用開始を目標に、行政、消防、歯科医師会、薬剤師会、近隣医師会、宮崎県立延岡病院などの関係機関との調整を進めています。

一方で、この構想を実現するためには、人材の確保が不可欠です。プライマリーケアに興味を持つ若い医師・看護師のみならず、長年の経験と知識を持つ「プラチナドクター」「プラチナナース」の皆様にも、地域医療の新たな仕組みづくりに力を貸していただきたいと考えています。

宮崎大学、宮崎県医師会、郡市医師会の先生方におかれましては、ご協力いただける人材にお心当たりがございましたら、延岡市医師会まで情報をお寄せくださいますようお願い申し上げます。

地域住民が安心して暮らし続けられる医療提供体制を構築し、次世代へ引き継いでいくことこそ、私たち延岡市医師会の使命であると考えております。会員の皆様と力を合わせ、地域に必要とされる医師会を目指してまいります。



延岡市医師会新役員

役員等名簿（任期 令和8年6月25日定時総会終結時～令和10年6月定時総会終結時まで）

役職名	氏 名	診 療 科	所属医療機関	担 当 業 務
会 長	赤須郁太郎	外科	延岡共立病院	統括・渉外（延岡市医師会病院院長，延岡看護専門学校運営委員長・学校長，延岡市医師連盟委員長，延岡市医師会共済会委員長，延岡市夜間急病センター所長） 宮崎県医師会常任理事
副会長	大重 明広	産婦人科	大重産婦人科医院	会計・医療行政 医事紛争（医療事故調査制度も含む）・総務
副会長	竹原 俊幸	泌尿器科	おがわクリニック	看護学校・腎臓検診 地域医療・庶務
理 事	安藤 誠	内科，循環器内科	桜小路クリニック	心臓検診
理 事	井上 英豪	整形外科	いのうえ整形外科クリニック	救急医療・延岡市夜間急病センター 災害医療・労務対策
理 事	池田 典文	内科	赤須医院	介護保険介護福祉
理 事	宝珠山厚生	小児科	ほうしやま子どもクリニック	公衆衛生/新興感染症対策 学校保健
理 事	岡村 樹里	内科	岡村病院	医療保険 宮崎県医師会理事
理 事	岩谷 健志	内科・外科・救急科	縁・在宅クリニック	在宅医療
理 事	* 中尾徳並	内科	萩原眼科中尾内科	生活習慣病（特定健診，各種がん検診・糖尿病も含む）・健康教育
理 事	* 児嶋一司	内科	平田東九州病院	延岡市医師会病院（管理統括部長）
理 事	* 能勢直弘	呼吸器外科	県立延岡病院	学術・生涯教育・勤務医部会・広報・産業医 （県北地域産業保健センター・産業医部会）
理 事	* 岸 昌廣	内科	岸医院	看護師研修・文化厚生会員福祉 医療情報システム/遠隔診療
監 事	吉田 建世	精神科	吉田病院	
監 事	早田 泰英	循環器科	早田病院	
監 事	* 佐藤信博	整形外科・麻酔科 リハビリテーション科	あたご整形外科	
議 長	* 溝口直樹	内科	みぞくち医院	
副議長	* 大崎 泰	整形外科・リハビリテーション科	大崎整形外科	

* 新任

各都市医師会だより

日向市東臼杵郡医師会

いまき いれ さとる
会 長 今給黎 承

まずは令和8年熊本地震に被災され亡くなられた方々に謹んで哀悼の意を表し、避難生活を余儀なくされた方々にお見舞い申し上げます。

6月の第1回理事会におきまして2期目の会長として承認いただきました。副会長として堀之内和代・森迫和仁先生に留任していただき、今回新たに6名の先生方に理事に就任していただきました。30歳代と若い高石先生を含め、多岐にわたる診療科の先生方に参加していただき心強く思っています。今後の地域医療構想調整にあたり、幅広い意見をいただけるものと考えています。

この2年間全力で取り組んだつもりですが、気づいてみれば多くの課題が山積しています。大規模災害発災直後の緊急連絡体制、看護学校の定員割れ、在宅サービスや初期救急診療所の運営問題等々です。会員の先生方には厳しい医療環境の中、経営努力を重ねて地域医療の最前線を支えていただき、敬意と感謝に堪えません。

県内の7医療圏の中で、最も広い面積を抱えた当医療圏を、少ない医療人材で対応しつつ、専門的医療が必要な分野では延岡市医師会様と連携し、広域で対応しています。日頃からの医療機関同士の連携のみならず、行政・介護・福祉を含め多職種での地域連携が重要かと思います。令和6年度から開催している連携の会に令和7年度からは行政も参加していただき、令和8年度からは介護・福祉関係にも声をかけたいと考えています。

当医師会員数が6月の時点でちょうど100人となり、医療機関数も50件となりました。若い会員数も増え、医師会として住民の信頼に応えうる専門職団体であるべく、役員一同頑張っ
て努めたいと考えています。ご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



日向市東臼杵郡医師会新役員

役員等名簿（任期 令和8年6月13日～令和10年6月定時総会終結時まで）

役職名	氏 名	診 療 科	所属医療機関	担 当 業 務
会 長	今給黎 承	内科, 循環器内科	今給黎医院	看護高等専修学校運営委員会委員長, 法制委員会委員長 人事給与委員会委員長, 医療事故審査委員会委員長 時間外救急診療対策委員会委員, 心臓検診委員会委員 (県医) 代議員, 地域医療委員会委員
副会長	堀之内和代	皮膚科	沼田皮膚科	看護高等専修学校校長, 看護高等専修学校教務委員会委員長 人事給与委員会委員, 医療事故審査委員会委員 看護高等専修学校運営委員会委員, 法制委員会委員 (県医) 代議員, 医療安全対策委員会委員
”	森迫 和仁	内科, 消化器内科, 胃腸科	森迫胃腸科内科	看護高等専修学校副校長, 看護高等専修学校教務委員会委員 看護高等専修学校運営委員会委員, 医療事故審査委員会委員 法制委員会委員, 人事給与委員会委員 時間外救急診療対策委員会委員 (県医) 予備代議員, 介護保険委員会委員
理 事	田代慎二郎	小児科	こどもクリニックたしろ	小児生活習慣病検診委員会委員長, 心臓検診委員会委員 (県医) 公衆衛生・感染症委員会委員 予防接種委員会委員, 園医部会理事
”	※渡邊裕之	産婦人科 産婦人科 (生殖医療)	渡辺産婦人科	特定健診委員会委員長, かかりつけ医運営委員会委員 (県医) 産婦人科医会理事
”	※長嶺英宏	皮膚科	ながみね皮膚科	かかりつけ医運営委員会委員長 (県医) 医療保険委員会委員, 労災部会自賠委員会委員
”	松岡 敬子	内科, 心療内科	松岡内科医院	(県医) 理事, 医療確保対策委員会委員
”	※堀 徹也	精神科, 内科	協和病院	在宅サービス運営委員会委員長, 人事給与委員会委員 特定検診委員会委員, かかりつけ医運営委員会委員 在宅医療協議会委員 (県医) 産業医部会理事, 精神科医理事
”	※稲原芳生	眼科	稲原眼科医院	(県医) 学術生涯教育委員会委員 会員福祉委員会委員, 情報システム委員会委員 医療関係者対策委員会委員
”	伊藤 康司	脳神経外科, 外科, 内科 透析科, 放射線科 リハビリテーション科 消化器内科, 泌尿器科	和田病院	看護高等専修学校主事, 看護高等専修学校教務委員会委員 看護高等専修学校運営委員会委員, 法制委員会委員 (県医) 予備代議員, 救急災害医療対策委員会委員 諸規定検討委員会委員, 病院部会理事, 医療法部会理事
”	※直野秀和	耳鼻咽喉科, 小児耳鼻咽喉科 アレルギー科	なおの耳鼻咽喉科	在宅サービス運営委員会委員 (県医) 学校医部会評議員, 学校検診委員会委員
”	※高石真那斗	内科, 総合診療 訪問診療, 助産師相談	日向たかいしクリニック	時間外救急診療対策委員会委員長, 在宅医療協議会委員 在宅サービス運営委員会委員 (県医) 倫理向上自浄作用活性化委員, 在宅医療協議会理事
監 事	古賀 正弘	内科, 胃腸科, 消化器科	古賀内科胃腸科	
”	千代反田晋	内科, 内分泌・代謝内科 (糖尿病) 消化器内科, 呼吸器内科 循環器内科, 脳神経内科 腎臓内科 (人工透析), 外科 消化器外科, 呼吸器外科 心臓血管外科, 大腸・肛門外科 乳腺・内分泌外科, 整形外科 リウマチ科, 泌尿器科, 麻酔科 放射線科, 皮膚科 リハビリテーション科 耳鼻咽喉科, 救急科	千代田病院	
議 長	鮫島 貴	精神科, 心療内科 内科, 放射線科	鮫島病院	
副議長	三股 恒夫	内科, 外科, 整形外科 消化器内科, 泌尿器科 リハビリテーション科 麻酔科, 歯科	三股病院	

※新任

国公立病院だより

国民健康保険高原病院

地域に必要とされる病院であり続けるために
～高原病院の経営改革と地域医療存続への挑戦～



いけだ まさのり
池田 直徳 院長

当院では、総務省が令和3年度に示した「持続可能な地域医療提供体制を確保するための公立病院経営強化ガイドライン」に基づき、経営強化プランを策定し、その実行を進めています。各種改革の成果もあり、

収益面では計画目標を上回る実績を挙げることができました。

しかし、近年の急激な物価高騰や人件費の上昇は病院経営に大きな影響を及ぼしており、収支全体で見れば依然として厳しい状況が続いています。人口減少が進む地方において、医療需要の変化と財政制約への対応は避けて通れない課題であり、今後も状況に応じて計画を見直ししながら経営改善を続けていく必要があります。

高原病院にとって大きな転機となったのは、令和5年度に町財政当局から診療体制の見直し、いわゆるダウンサイジングが提案されたことです。背景には、これまで先送りされてきた小学校校舎や庁舎など公共施設の更新需要があり、限られた財源の中で病院への一般会計繰出金の増加が大きな課題として認識されていました。

病院としては、地域医療における病棟機能の重要性を示す必要がありました。そのため令和6年度は地域包括ケア病床の増床と稼働率の強化に注力し、入院収益を例年の約1.5倍にまで伸ばすことができました。その結果、病棟機能の維持が病院経営の改善に寄与することを一定程度示すことができ、町財政当局による見直し案はひとまず保留となりました。

しかしながら、人口減少や人件費上昇の影響

を考えると、地方自治体病院の経営は依然として脆弱であり、一般会計からの支援なしに存続することは容易ではありません。

特に令和7年度は給与改定にともなう人件費の大幅な増加が見込まれており、病院経営の将来を左右する重要な時期でした。私は、この時期を「分水嶺」と捉え、病院が地域に本当に必要とされているのかをあらためて問い直しました。

その答えを求めるために取り組んだのが「院長講話」です。百歳体操やケアマネジャー会議など地域住民が集まる場へ自ら足を運び、住民の医療ニーズや病院への要望を直接伺いました。1年間で18回実施し、多くの貴重な意見を頂きました。

その中で特に印象的だったのが、人間ドック再開を望む声です。当院ではさまざまな事情から人間ドック事業を休止していましたが、多くの住民から再開を求める声が寄せられました。病院として検討を重ねた結果、令和8年度より国保人間ドックおよび市町村共済組合人間ドックを再開することを決定しました。病院側が必要だと思う医療サービスと、住民が求める医療サービスには時として差があります。地域の声を直接聞くことの重要性をあらためて実感した出来事でした。

また、外来患者からは「職員からの声掛けが少ない」という意見も多数寄せられました。医療の質だけでなく、安心して受診できる環境づくりも病院の重要な役割です。この課題に対応するため、令和7年8月より病院コンシェルジュを配置し、患者案内や相談対応の充実を図っています。まだ試行錯誤の段階ではありますが、患者満足度向上に一定の成果がありました。

こうした新たな取り組みを支えるため、院内組織の見直しにも着手しました。これまで当院の医療科部門は看護総師長1名、師長2名という少数の管理職で運営されていました。限られた人員を効率的に活用し、組織として継続的な改善を行うためには、管理体制の強化が不可欠でした。

そこで師長職を2名増員するとともに、副師長職を新設して8名の職員を配置しました。こ

れにより、従来は毎年交代制で担当していた各部署の主任的業務を固定化し、責任と権限を明確にすることで組織力の向上を図りました。先述の病院コンシェルジュには師長職を配置し、医療的な相談対応を含めた患者支援を行っています。組織改編からまだ1年足らずですが、職員一人ひとりが主体的に業務改善へ取り組む姿勢が生まれつつあり、大きな手応えを感じています。

更に、当院では広報活動にも力を入れています。広報誌の刷新に加え、ホームページの充実を進め、各部署が毎月ブログを更新しています。内容は医療情報だけでなく、日常業務や地域活動、季節の話題など多岐にわたります。こうした継続的な情報発信が評価されたのか、現在では月間閲覧数が10万件を超えるまでになりました。病院と地域をつなぐ新たなコミュニケーション手段として、広報活動の重要性を強く感じています。

一方で、病院経営において最も重要な課題は依然として医師確保です。当院では令和6年度まで常勤医は私一人であり、多くの診療科や当直業務を非常勤医師に支えていただいていた。

そのような中、県立宮崎病院には大変なご支援をいただきました。令和7年度より県の「へき地診療所等に対する医師派遣事業」を活用し、内科医師を週1回派遣していただいたので

す。このご縁が発展し、令和8年度からは当該医師を副院長として迎え、常勤医として勤務していただくこととなりました。どのような出会いが将来の常勤医確保につながるのか分かりません。あらためて人的ネットワークの大切さを実感しています。

先日、県立宮崎病院の眞柴院長とお話する機会がありました。その際、西諸県地域における医師不足、とりわけへき地医療支援に対する強い思いを伺いました。当院との連携がモデルケースとなり、県内全域へ広がっていくことが望ましいとの力強い言葉をいただき、大きな励みとなりました。

また、鹿児島大学からも継続的に非常勤医師を派遣していただいています。大学側も医局員減少という課題を抱えている中で、当院への支援を続けていただいていることに深く感謝しています。

地域医療の維持は一つの病院だけで成し遂げられるものではありません。行政、基幹病院、大学、地域住民、そして病院職員がそれぞれの立場で支え合うことによって初めて実現できます。当院は今後も地域に必要とされる病院であり続けるために改革を続けていきます。そして地域住民が安心して暮らせる医療体制の維持に全力を尽くしていきたいと考えています。



国民健康保険高原病院

宮崎大学医学部だより

宮崎大学医学部附属病院 - リハビリテーション部 -



あらかわ ひで き
荒川 英樹 教授

宮崎大学医学部附属病院
リハビリテーション部は、
1977年の開院と同時に院内
措置として業務を開始し、
2002年4月には省令による
中央診療部門として位置付
けられ、現在に至っていま
す。大学病院の特性上、急

性期入院患者を中心に、脳血管疾患、運動器疾患、神経筋疾患、呼吸・循環器疾患、がん、周術期、小児疾患など、幅広い領域のリハビリテーション医療を担当しています。

当部では、各診療科からの依頼を受け、リハビリテーション科医が診察、評価、目標設定を行ったうえで、理学療法、作業療法、言語聴覚療法を実施しています。2025年度の年間新患紹介患者数は、主に院内紹介で4,500件を超えており、非常に多い状況です。近年は、集中治療領域における早期離床、周術期リハビリテーション、がんリハビリテーション、摂食嚥下障害への対応など、大学病院に求められるリハビリテーション医療の範囲は更に拡大しています。

更に、大学病院全体として木曜日休診、土曜日診療の方針となりましたが、当部ではリハビリテーション医療の継続性を重視し、木曜日も院内診療を継続しています。そのため、実質的には月曜日から土曜日までの週6日診療体制へ移行しました。現在、当部は33名体制（理学療法士20名、作業療法士8名、言語聴覚士5名）となりましたが、対象患者数の増加に対応するには、なお十分とはいえません。現在の人員体制では負担も少なくありませんが、国の施策と

してリハビリテーション医療において365日体制が推進されていることもふまえ、その方向性に沿った体制整備を進めています。

また、当院は宮崎県における唯一のリハビリテーション科専門研修プログラムを運営しています。今年度は、当プログラムから初めて2名の専攻医が専門医試験に挑みました。リハビリテーション科の専門医試験は、筆記試験150問を3時間で行うことに加え、受験者全員に対面での面接試験が課せられます。面接試験は2領域で構成され、今年はA分野が脳血管疾患、B分野が脊髄損傷であり、各30分、計60分にわたって行われました。臨床能力、知識、判断力を総合的に問われる厳しい試験でしたが、2名の先生方はいずれもしっかりと準備を重ね、無事に合格を果たされました。

日本リハビリテーション医学会ホームページによると、宮崎県内のリハビリテーション科専門医数は、新たに加わった2名を含めても20名に満たない状況です。これは全国的にみても最小クラスであり、本県における専門医の育成と確保は大きな課題です。来年度も1名の専攻医が専門医試験を受験する予定であり、今後も継続的に専門医を育成していくことが、宮崎県のリハビリテーション医学・医療の発展に不可欠であると考えています。

リハビリテーション医療は、新生児から高齢者まで、また急性期から回復期、生活期まで、すべての時期に関わる医療です。宮崎県において質の高いリハビリテーション医療を提供し、地域の医療・介護・福祉と連携しながら生活者を支えることは、大学病院リハビリテーション部の重要な使命です。宮崎県医師会の先生方におかれましては、今後ともリハビリテーション医学・医療の発展、ならびにリハビリテーション科医の育成にご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

部会だより

産業医部会



かわの まさゆき

河野 雅行 部会長

宮崎県医師会産業医部会は、令和8年で50年目を迎えました。現在の会員数は4月末時点で351名であり、河野雅行部会長（県医師会会長）をはじめ、各郡市

医師会などから選出された理事を中心に運営しております。主な活動として、産業医研修会の開催、年1回の理事会や総会の他、県産業保健連絡協議会などを通じて労働局や産業保健総合支援センター、各事業者団体との意見交換を重ね、地域における産業保健活動の推進に努めております。

近年、労働者の過労死やメンタルヘルス不調の深刻化を背景に、産業医の権限強化や活動の義務化を中心とした法改正が段階的に実施されています。直近では令和8年8月1日より、産業医の選任時だけでなく、辞任・解任・退任の際にも労働基準監督署長への報告が義務付けられることとなりました。このように制度が変化中、産業医には常に知識を最新のものとアップデートすることが求められています。

当部会では、こうした状況に対応すべく、産業医の養成および資質向上に注力しております。令和7年度は各郡市医師会や産業保健総合支援センターの協力のもと、未認定医対象の基

礎研修会を9回（29.5単位分）、認定医対象の生涯研修会を50回（110.5単位分）実施いたしました。そのうち3回はテレビ会議システムを活用したオンライン開催とし、受講の利便性向上を図りました。本年度以降も、より多くの受講機会を提供できるよう努めてまいりますので、積極的なご出席をお願いいたします。

また、令和8年5月には日本医師会より、諮問「産業医部会活性化の具体的方策」への答申書と、改訂版「嘱託産業医の心得と契約書の手引き」が公表されました。ストレスチェック義務化の小規模事業場への拡大など、産業医の役割が増大する一方で、認定産業医の半数以上が未活動であり、実務への不安などによる「1社目の壁」が課題となっています。本答申では、この壁を突破するための方策として、手引きの活用や、地域医師会での未経験者向け懇談会の実施、適正な紹介事業者を交えた間接契約の活用などが提言されております。これらの資料は宮崎県医師会の会員専用ページなどに掲載しておりますので、実務の参考にぜひご活用ください。

最後になりますが、当部会への入会をご希望の先生には入会申込書をお送りいたしますので、宮崎県医師会事務局までお気軽にご連絡いただきますようお願い申し上げます。

（理事 山中 聡）

九州医師会連合会第429回常任委員会

と き 令和8年7月11日(土)

ところ マナーハウス島津重富荘（鹿児島市）

1 開 会

2 挨 拶

1) 前九州医師会連合会長（福岡県平田会長）

2) 開催県医師会長（鹿児島県牧角会長）

3 報 告

1) 令和8年度九州医師会連合会行事予定について（鹿児島）

鹿児島県が担当する令和8年7月1日から9年6月30日の行事確認が行われた。

4 協 議

1) 九州医師会連合会会長・同副会長の互選について（鹿児島）

九医連の会長に鹿児島県牧角会長、副会長に佐賀県志田会長が互選された。任期は令和8年7月1日から令和9年6月30日まで。

2) 九州医師会連合会監事の選定について（鹿児島）

慣例により鹿児島隣接県の宮崎県と沖縄県から選出することが承認され、8月22日の定例委員総会に上程されることとなった。

3) 九州医師会連合会第432回常任委員会（10月3日(土)鹿児島市）の開催について（鹿児島）

15時30分から城山ホテル鹿児島で開催する日程案などが承認された。

4) 第1回連絡協議会（10月3日(土)鹿児島市）の開催について（鹿児島）

16時から城山ホテル鹿児島で開催する日程

案などが承認された。「人口減少時代を生き抜く、持続可能な地域医療提供体制の構築に向けて～いま考える次世代に継承できる医療体制づくりの提言～」をテーマに、独創的な視点から、持続可能な地域医療提供体制の構築に向けた改革案を九州各県から提案いただき、得られた提言は日本医師会を通じて今後の制度改革に活かされることを目指すこととなった。

5) 第1回勤務医連絡協議会（10月3日(土)鹿児島市）の開催について（鹿児島）

14時から城山ホテル鹿児島で開催する日程案などが承認された。「勤務医×開業医でこれからの医師会を創る～勤務医が求める医師会像と医師会が求める勤務医像～」をテーマに、事前アンケートを行ったうえで勤務医・開業医双方の立場から、医療制度や医師会組織が抱える各種課題などについて意見を交わすことで今後医師会が目指すべき方向性やあり方について考えることとなった。

6) 日本医師会役員就任披露パーティー（7月28日(火)東京）への対応について（鹿児島）

九医連として生花を贈り祝意を表すことが承認された。

5 その他

1) 令和9年度九州医師会連合会行事予定について（佐賀）

佐賀県が担当する予定の令和9年7月1月から10年6月30日の行事予定案が提示された。

2) 令和10年度九州医師会連合会行事予定について（宮崎）

宮崎県が担当する予定の令和10年7月1月から11年6月30日の行事予定案が提示された。

3) 令和8年度補正予算による医療機関への更なる支援に関する要望について

（鹿児島）

令和8年4月に九医連の第428回常任委員会で提案された要望については、国の令和8年度一般会計補正予算や診療報酬改定の影響などを把握すべく、要望時機を調整することが承認された。

出席者－河野会長、竹崎事務局長

8月のベストセラー（宮崎県）

集計：2026年8月1日～8月23日

1	永遠の記憶	東 野 圭 吾	文 藝 春 秋
2	月がきれいな夜に、誰かに思い出してほしかった	川 代 紗 生	サンマーク出版
3	白鳥とコウモリ⑤⑥	東 野 圭 吾	幻 冬 舎 文 庫
4	夏 帆	村 上 春 樹	新 潮 社
5	あなたが誰かを殺した	東 野 圭 吾	講 談 社 文 庫
6	科学的に証明されたすごい習慣大百科	堀 田 秀 吾	SBクリエイティブ
7	マリスアングル	誉 田 哲 也	光 文 社 文 庫
8	捨てられた僕と母猫と奇跡	船 ヶ 山 哲	プレジデント社
9	ハヤブサ消防団 森へつづく道	池 井 戸 潤	集 英 社
10	天 狼	今 野 敏	ハ ル キ 文 庫

日医インターネットニュースから

■医療事故調の研修義務、病院は「全施設」 — 厚労省が疑義解釈 —

厚生労働省医政局地域医療計画課は7月27日、医療事故調査制度に関する疑義解釈の事務連絡を発出した。制度の見直しにより、病院に関しては全身麻酔手術や分娩の実施件数にかかわらず全施設の管理者が、事故を判断するなど制度に携わる人に研修を受講させる必要があることを改めて強調した。

厚労省は医療法施行規則を改正し、今年4月1日から医療事故調査制度や医療安全管理体制を強化した。研修に関しては▽全ての病院▽入院施設を持ち、年120件以上の全身麻酔手術・分娩を行う診療所▽件数を問わず分娩を行う助産所 — の管理者に対し、制度に携わる人に研修を受けさせることを義務付けている。

疑義解釈では施設類型によって研修受講の要否を整理したチャート図を付けて、改めて周知した。

●「29年3月末までの受講」が原則

研修の義務化が施行となる2029年4月1日までに受講していることが望ましいため、同年3月末までの受講を求めた。

ただし、対象となる診療所については、28年度に手術・分娩の基準に該当した場合は、30年3月末までに受講を完了すればよいとした。28年度より前に基準に該当しているなど、あらかじめ基準を上回ることが想定される場合は、29年3月末までの受講完了が「望ましい」とした。

(令和8年7月31日)

■「将来の病床数との関係、説明を」 — 新構想、新たな病床整備の場合 —

厚生労働省医政局は7月30日までに、2040年に向けた新たな地域医療構想(新構想)において、医療機関が新たに病床を整備する場合、将来の病床数必要量との関係性などを、地域医療構想調整会議で説明するよう求める通知を発出した。

通知では、これまでの関連の通知や事務連絡の内容を整理し、都道府県の権限や、調整会議における各医療機関の状況共有、地域医療構想アドバイザーに関する考え方を示した。

このうち都道府県の権限に関しては、開設・増床の予定を把握した際は許可を待たずに、調整会議へ出席するよう医療機関に求めると明記した。調整会議で医療機関が説明すべき内容と

して、以下を提示した。▽新たに整備する病床と、将来の病床数必要量との関係▽新たに整備する病床の医療機能と、当該構想区域における病床機能区分ごとの将来の病床数必要量との関係性▽当該病床機能を担う上での、雇用計画や設備整備計画の妥当性 —。

既存病床数や基準病床数、将来の病床数必要量との整合性を図る必要がある場合には、調整会議の後、都道府県医療審議会でも議論する方針を示した。新たに整備される病床の医療機能が、構想区域で充足している場合などは、開設・増床の許可に当たり不足する医療機能を提供するという条件を付けるとした。医療機関が正当な理由なく条件に従わない場合、勧告・命令を経て公表すると記載した。

通知には調整会議の円滑な協議のため、医療機関ごとの医療機能や診療実績のほか、地域医療介護総合確保基金を含む補助金や繰入金の活用状況を、都道府県が示すことも盛り込んだ。公的・公立病院にはさらに、病床稼働率や紹介・逆紹介率、救急対応状況、医師数、経営に関する情報も調整会議に示すよう求めている。

地域医療構想アドバイザーの選定方法や要件、廃止する関連通知も明示した。

●再編検討・推進・モデル推進区域は終了

厚労省は同じく30日までに、25年に向けた地域医療構想の再編検討区域と推進区域、モデル推進区域を終了する通知を発出した。重点支援区域は今後も継続する。

重点支援区域の申請の要否を判断するまでの支援である再編検討区域の選定は、この通知発出をもって終了する。今後は技術的助言を行う「厚労省窓口」を新設し、そちらで支援する。現在の再編検討区域の支援は、27年3月末まで。

推進区域の選定も通知発出をもって終了。現在のモデル推進区域は27年4月1日付で終了し、今後は厚労省窓口で支援を行う。

通知の名称は「地域医療構想における取組について」と「地域医療構想における重点支援区域、モデル推進区域等の取組について」。いずれも7月8日付。

(令和8年8月4日)

■熊本地震のJMAT、25チーム82人に — 松本会長「水や人員不足が課題」 —

松本吉郎会長は8月5日の定例会見で、熊本地震への対応として派遣を開始したJMAT

(日医災害医療チーム)の派遣数が、同日時点で調整本部などに詰めているチームを含め25チーム・82人に上ることを明らかにした。統括JMATや熊本県医師会、全国の都道府県医師会と毎夕、実施しているウェブミーティングでは、被災地における医療支援活動の課題として、生活用水を含めた医療機関の水不足や看護師などのマンパワー不足、支援ニーズの把握などが挙がっているとした。

日医は発災翌日の先月29日に、先遣JMATとして福岡県医の横倉義典常任理事を、30日には統括JMATとして沖縄県医の出口宝理事をそれぞれ派遣。同日、松本会長が両氏を本部統括JMATに任命し、その日のうちに熊本県庁内へJMAT調整本部を立ち上げた。

31日には、両氏による医療支援ニーズの評価を踏まえ、JMAT派遣要請を九州の各県医から全国の都道府県医へ拡大。とりわけ被害が大きい宇城地区と八代地区に対しては、福岡県医と鹿児島県医の統括JMATが、8月1日付でJMAT調整地域本部を設置している。

2日からは、支援JMATの派遣も開始。5日時点で派遣されているチームの中には九州以外からの派遣も含まれているという。

松本会長は、「現在は、多数のJMATが必要なフェーズと言える」と述べ、1～2週間をめにチーム編成をしていると説明。その上で、「そう遠くない時期には、支援が必要な地域に焦点を当て、長いスパンでチームを送り続けるフェーズに移行したい」との認識を示し、統括JMATに今後のチーム編成や派遣の在り方などについて、状況を見極めながら判断するよう要請したと話した。松本会長自身も9日に被災地入りする予定も明らかにした。

●首相・厚労相にも対応要請

被災した医療現場を支えるため、高市早苗首相や上野賢一郎厚生労働相に直接対応を要請したことも明かした。高市首相とは、メールで頻繁に連絡を取っているほか、上野厚労相には面会して直接伝えたと説明した。

当面の支援として、日医から熊本県医に1000万円を贈るとともに、都道府県医に対す

るJMAT派遣の費用補助を決定したと報告。さらに、全国の都道府県・郡市区等医や会員からの支援金の受け付けも、5日から開始した。台湾医師会からも、支援金1000万円の申し出を受けたと述べ、謝意を示した。

「医療の復旧がなければ、地域の復旧もない」と強調。「医師会活動の最終目標は、被災地に医療を取り戻すこと」だと指摘し、引き続き被災地の医療支援に全力で取り組む考えを示した。

(令和8年8月7日)

■学校健診の視触診、保護者の理解を — 文科省検討会中間まとめ —

文部科学省は8月3日、学校の保健管理の在り方に関する検討会で、健康診断を巡る議論の中間まとめ案を示し、大筋で了承を得た。健診実施に当たっては児童・生徒のプライバシーや心情に十分配慮することが重要と指摘。体操服や下着をめぐって視触診する場合があることなどを各学校が事前に説明し、児童・生徒本人や保護者の理解を得るよう努めることとした。

健診の意義や検査・診察の方法などについて、事前に丁寧な説明を行うことを求めた。理解が得られなかった場合は、体操服や下着の上からの診察では疾病や異常が見逃される可能性があることを文書などで説明する方法を提示。さらに、学校で検査・診察を受けるか、個別に医療機関を受診するかの意思確認を行うことも有効だとした。

渡辺弘司委員(日医常任理事)は「プライバシーを重視することは当然」とした上で、検査の精度を維持することが重要だと指摘。「プライバシーに配慮するあまり、質を担保できないことはぜひ避けていただきたい」と意見した。

中間まとめ案では健診の実施時期についても言及した。学校医などの確保が困難な地域もある状況を踏まえ、診断は必ずしも6月30日までにを行うことを求めず、「例えば夏季休業開始までに実施することが望ましい」と示している。

(令和8年8月7日)

日医インターネットニュースは、日本医師会のホームページからご覧になれます(毎週火・金更新)。

日本医師会 (<http://www.med.or.jp/>) > メンバーズ > 日医インターネットニュース

メンバーズルームへのアクセス方法

◆ユーザID: 会員ID(日医刊行物送付番号)の10桁の数字(半角)

◆パスワード: 生年月日の「西暦の下2桁, 月2桁, 日2桁」の6桁の数字(半角)

医師協同組合だより

先生方へ医療機器ご検討についてのお願い

お見積りの前にまず医師協同組合へ

なぜなら？

メーカーへの見積りは最初の見積りで決定します。

ですから、まず医協へ見積り依頼をお願いします。

医協の交渉により組合員特別価格でのお見積りが可能となります。

医療機器のことなら

是非、医師協同組合にご連絡ください！



医師協同組合に第一報をいただければ、他業者より有利な条件で仕入れて、安い価格で案内することが可能となります。

リースもOKです。

■医療機器お問合せシート

医 療 機 器 名 (形式やメーカー名)	見積り 希望	パンフレット 希望	詳細説明 希望	デモ 希望
	☐	☐	☐	☐
	☐	☐	☐	☐

※ご希望の欄に□に✓をつけて下さい。

ご意見・ご質問がございましたらお気軽にご記入ください。

住 所	
医療機関	
担当者名	
TEL	

宮崎県医師協同組合

TEL : 0985-23-9100

F A X : 0985-23-9179

医師国保組合だより

宮崎県医師国民健康保険組合第135回通常組合会

と き 令和8年7月16日(木)

ところ 県医師会館 (Web併用のハイブリッド開催)

神尊仮議長の開会宣言に続き、議長に原田議員(宮崎市郡医師会支部)、副議長に野邊議員(都城市北諸県郡医師会支部)が選出された。

はじめに令和7年度中にご逝去された6名の組合員ならびに本年4月にご逝去された故 稲倉顧問に対し、哀悼の意を表し黙祷を捧げた。

続いて、秦理事長より挨拶があり、被保険者数が10年前から約2割減少し組織が先細りの傾向にあることや、今後の組織存続を見据えた吸収合併の是非が大きな課題である旨が述べられた。その後議事に入り、令和7年度事業報告、歳入歳出決算ならびに剰余金処分の3議案について審議が行われ、いずれも原案どおり可決、承認された。

また、議事終了後には任期満了にともなう役員改選が行われ、最後に、今期をもって退任される秦理事長からこれまでの組合運営に対する感謝の意が述べられた。

1 議 事

議案第1号 令和7年度事業報告について

被保険者数は減少傾向にあり、令和7年度の年間平均被保険者数は1,300人であった。内訳は家族の減少が目立つ一方、組合員数は横ばいを維持しており、現時点での財政的懸念はない。ただし、一部の国庫補助金がゼロとなる特定被保険者の増加も影響し、補助金は減少している。

保険料については、家族の保険料は長年据え置く一方、組合員分は毎年見直しを行っている。他制度へ充てる保険料は、後期高齢者支援金分が増額している。

療養諸費の保険者負担額は、件数増の一方で1件あたりの医療費が減少し、前年度比約800万円減の2億3,000万円余りとなった。前年度は入院が多かったが、本年度は外来が増加している。

特定健診の受診率は国の目標70%に対し速報値で42.76%と伸び悩んでおり、本年度は未受診者対策を強化する方針である。

議案第2号 令和7年度歳入歳出決算について

令和7年度の決算は、歳入合計が6億

2,210万6,023円、歳出合計が4億7,927万9,959円となり、差引残額は1億4,282万6,064円であった。繰越金および繰入金を除いた単年度収支は、3,050万3,115円の黒字を計上した。

「医療給付費」、「後期高齢者支援金」、「介護納付金」、「高額医療費共同事業」の各区分における収支状況を説明する。まず、医療給付費分については、歳入において特に65歳以上加入率の高さから前期高齢者交付金が前年度比約2,600万円増額し、単年度黒字に大きく影響した。歳出では、保険給付費が前年度より約1,000万円減額となった。後期高齢者支援金分については、近年の保険料引き上げにより、これまで続いていた赤字が大幅に解消した。介護納付金分については、介護保険第2号被保険者の減少にともない納付金も減少し、ここ数年は毎年黒字となっている。最後に高額医療費共同事業分については、1,000万円超のケースは本年度も発生せず、対象は100万円超のケースである。交付金は高額医療費が発生した年度に交付されるものの拠出金は数年間にわたる支出となるため、収支状況は長期間で見ればプラスマイナスゼロに近い状況となっている。

また、積立金の合計は約3億円となり、法定積立額を上回る超過額は約2億2,000万円である。これは超高額医療費の発生など万が一の事態に備えるためのものであるが、国の方針により令和9年度より積立金が過多であるなど一定の条件に該当する組合は国庫補助金が削減されることが決定した。このため今後はこの超過積立金を一般会計へ繰り入れ活用していく必要がある。

議案第3号 令和7年度歳入歳出差し引き剰余金の処分について

国民健康保険法施行令で定められている特別積立金および給付費等支払準備積立金については、保有額がいずれも法定額を上回っているため、新たな積立は不要と判断し、歳入歳出差し引き剰余金1億4,282万6,064円の全額を令和8年度会計へ繰り越すことが可決、承認された。

2 役員改選

任期満了にともなう役員改選が行われ、新たに理事9名および監事2名が選任された。秦理事長は今期での勇退を表明されたが、被保険者数の減少や合併問題など重要な時期に直面していることから現体制の維持が望まれ、他の

現役員全員が再任することとなった。なお、理事長、副理事長、常務理事、法令遵守担当理事は、組合会終了後の理事会において選任される。

また、顧問にはこれまで就任の河野県医師会長に加え、退任される秦理事長が新たに選任された。

出席議員 28名/定数30名（※はリモート出席）

1番 石坂裕司郎※	16番 大岐照彦
2番 牛谷義秀※	17番 鵜木俊秀※
3番 内野竜二※	19番 安藤誠※
4番 岡留敏秀※	20番 井上英豪※
5番 尾田朋樹※	21番 長田浩伸※
6番 菊池安剛※	22番 竹中美香※
7番 木佐貫博人	23番 蟻塚高生
9番 神尊敏彦	24番 永友淳司
10番 佐藤潤一郎※	25番 川西昭人
11番 谷口二郎	26番 井手秀幸
12番 原田雄一	27番 杉原純次※
13番 弘野修一	28番 石澤宗純※
14番 早稲田真※	29番 佐藤元二郎※
15番 野邊俊文	30番 上野尚美※

出席理事 10名

理事長	秦喜八郎
副理事長	小牧斎
副理事長	石川智信
常務理事	佐々木究
常務理事	市来能成
理事	北村洋
理事	高木純一
理事	玉置昇
理事	上山貴子
理事	河原勝博

出席監事 2名

監事	棚田敏文
監事	山路健

任期満了にともなう役員改選結果について

第135回通常組合会終了後開催された理事会において、理事長、副理事長、常務理事、法令遵守担当理事が決定し、以下のとおり令和8年7月16日から就任しました。役員の任期は令和10年7月の通常組合会終結時までです。

また、顧問についても委嘱されたので合わせて通知します。

役 職	氏 名	支部名
理 事 長	小牧 斎	宮崎市郡
副理事長	石川 智信	宮崎市郡
副理事長	佐々木 究	宮崎市郡
常務理事 (法令遵守担当理事兼任)	市来 能成	宮崎市郡
常務理事	高木 純一	宮崎市郡
理 事	北村 洋	児 湯
理 事	玉置 昇	宮崎市郡
理 事	上山 貴子	宮崎市郡
理 事	河原 勝博	宮崎市郡
監 事	棚田 敏文	宮崎市郡
監 事	山路 健	都城市北諸県郡
顧 問	秦 喜八郎	宮崎市郡
顧 問	河野 雅行	宮崎市郡

令和7年度 宮崎県医師国民健康保険組合歳入歳出決算書

歳 入 合 計	622,106,023円
歳 出 合 計	479,279,959円
歳 入 歳 出 差 引 残 額	142,826,064円
(令 和 6 年 度 繰 越 金	106,942,949円)
(積 立 金 繰 入 金	5,380,000円)
(令 和 7 年 度 単 年 度 収 支	30,503,115円)

(歳 入)

(単位：円)

款	項	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算現額と収入済額との比較
1 国民健康保険料	1 国民健康保険料	373,773,000	372,711,200	372,711,200	0	0	△ 1,061,800
2 一 部 負 担 金	1 一 部 負 担 金	1,000	0	0	0	0	△ 1,000
3 国 庫 支 出 金		47,047,000	46,896,334	46,896,334	0	0	△ 150,666
	1 国 庫 負 担 金	1,594,000	1,935,884	1,935,884	0	0	341,884
	2 国 庫 補 助 金	45,453,000	44,960,450	44,960,450	0	0	△ 492,550
4 前期高齢者交付金	1 前期高齢者交付金	62,771,000	62,702,436	62,702,436	0	0	△ 68,564
5 出産育児交付金	1 出産育児交付金	24,000	23,646	23,646	0	0	△ 354
6 県 支 出 金	1 県 補 助 金	2,000	0	0	0	0	△ 2,000
7 共同事業交付金	1 共同事業交付金	12,613,000	25,427,000	25,427,000	0	0	12,814,000
8 財 産 収 入	1 財産運用収入	1,000	0	0	0	0	△ 1,000
9 繰 入 金	1 繰 入 金	5,384,000	5,380,000	5,380,000	0	0	△ 4,000
10 繰 越 金	1 繰 越 金	96,671,000	106,942,949	106,942,949	0	0	10,271,949
11 諸 収 入		124,000	2,022,458	2,022,458	0	0	1,898,458
	1 加算金・延滞金及び過怠金	1,000	0	0	0	0	△ 1,000
	2 預 金 利 子	50,000	62,517	62,517	0	0	12,517
	3 雑 入	73,000	1,959,941	1,959,941	0	0	1,886,941
歳 入 合 計		598,411,000	622,106,023	622,106,023	0	0	23,695,023

(歳 出)

(単位：円)

款	項	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	予算現額と支出済額との比較
1 組 合 会 費	1 組 合 会 費	4,717,000	3,951,002	0	765,998	765,998
2 総 務 費	1 総 務 管 理 費	49,151,000	48,448,892	0	702,108	702,108
3 保 険 給 付 費		276,145,000	255,706,449	0	20,438,551	20,438,551
	1 療 養 諸 費	252,428,000	233,408,391	0	19,019,609	19,019,609
	2 高 額 療 養 費	19,076,000	18,669,058	0	406,942	406,942
	3 移 送 費	1,000	0	0	1,000	1,000
	4 出産育児諸費	1,000,000	500,000	0	500,000	500,000
	5 葬 祭 諸 費	840,000	840,000	0	0	0
	6 傷 病 諸 費	2,800,000	2,289,000	0	511,000	511,000
4 後期高齢者支援金等	1 後期高齢者支援金等	91,238,000	91,030,442	0	207,558	207,558
5 前期高齢者納付金等	1 前期高齢者納付金等	148,730	147,815	0	915	915
6 介護納付金	1 介護納付金	37,555,270	37,554,663	0	607	607
7 流行初期医療確保拠出金等	1 流行初期医療確保拠出金等	2,000	0	0	2,000	2,000
8 共同事業拠出金		20,145,000	19,921,488	0	223,512	223,512
	1 共同事業拠出金	12,620,000	12,398,000	0	222,000	222,000
	2 共同事業負担金	7,525,000	7,523,488	0	1,512	1,512
9 保 健 事 業 費		22,662,000	21,691,138	0	970,862	970,862
	1 特定健康診査等事業費	3,401,000	3,387,516	0	13,484	13,484
	2 保 健 事 業 費	19,261,000	18,303,622	0	957,378	957,378
10 積 立 金	1 積 立 金	5,000	0	0	5,000	5,000
11 組 合 債 費	1 組 合 債 費	1,000	0	0	1,000	1,000
12 諸 支 出 金	1 償還金及び還付加算金	1,088,070	828,070	0	260,000	260,000
13 予 備 費	1 予 備 費	95,552,930	0	0	95,552,930	95,552,930
歳 出 合 計		598,411,000	479,279,959	0	119,131,041	119,131,041

あなたできますか？(解答)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
b	d	b	a	e	e	b	e	c	b

**令和8年7月7日(火) 第4回常任理事協議会****医師会関係
(議決事項)****1. 本会外の役員等の推薦について**

- ①宮崎地方労働審議会委員の変更に係る承諾について
→労働関係法令の施行や公共職業安定所の業務に関する重要事項を調査・協議する審議会で、任期満了に伴い、新たに山中理事を推薦することが承認された。
- ②県メディカルコントロール協議会委員就任のお願いについて
→救急業務の高度化を推進するために設置される協議会で、任期満了に伴う推薦依頼があり、引き続き、金丸副会長と田畑常任理事を推薦することが承認された。
- ③県ナースセンター事業運営委員会委員の推薦について
→県ナースセンター事業の円滑かつ効果的な実施を目的に設置される委員会の任期満了に伴う委員の推薦依頼があり、新たに、金丸副会長を推薦することが承認された。
- ④県後期高齢者医療広域連合療養費適正化研究会委員の推薦について
→後期高齢者の療養費の適正化について検討する研究会の委員について、任期満了に伴い内科2名、整形外科2名の委員の推薦依頼があり、本会役員から吉見常任理事と河原理事、残り2名については現委員に再任の方向で意向を確認し、必要があれば所属医会に人選

をお願い推薦することが承認された。

⑤宮崎産業保健総合支援センターの運営主幹の推薦について

→事業主や産業保健関係者に対し研修や相談対応等を行う産業保健総合支援センターの運営主幹の任期満了に伴う推薦依頼があり、新たに、産業保健主担当の山中理事を推薦することが承認された。

⑥宮崎産業保健総合支援センター運営協議会委員の推薦について

→産業保健総合支援センターの効率的・効果的な運営のために設置される協議会委員の任期満了に伴う推薦依頼があり、新たに、産業保健主担当の山中理事と副担当の吉見常任理事を推薦することが承認された。

2. 業務委託について**①令和8年度糖尿病発症予防及び糖尿病性腎症重症化予防研修事業の委託契約について**

→糖尿病の診断および治療の方針を定める医師を対象とした研修会を開催し、糖尿病連携手帳の活用や二次医療圏ごとの多職種連携体制を構築する事業で、委託契約を締結することが承認された。

②令和8年度生活習慣病検診従事者研修事業の委託契約について

→特定健診や胃・子宮・肺・乳・大腸がん検診に従事する医療関係者の資質向上を図るための研修会を開催する事業で、委託契約を締結することが承認された。

3. 後援・共催名義等使用許可について**①11/7(土)(日南市) 宮崎県精神保健福祉大会の後援について**

→県民の心身の健康の保持増進や地域社会における精神保健福祉の一層の向上を図ることを目的に「つながって ささえあって 共にいまを生きる」をテーマに開催される大会で、名義後援を行うことが承認された。

②11/14(土)・15(日)(宮大医学部) 清花祭清武キャンパス医学展の名義後援について

→宮崎大学学園祭の清花祭において医学部の学生が医学・医療に関する展示発表を行う医学展で、名義後援を行うこ

とが承認された。

③県スポーツ協会認定アスレティックトレーナー養成講習会の名義後援について

→県内のスポーツに親しむ者の健康管理を行うスタッフの育成等を目的に開催される講習会で、名義後援を行うことが承認された。

④12/19(土) (日医) 全国医師会事務局連絡会研修会への後援並びに貴会管下医師会への案内について

→医師会の職員等を対象に「変革期を迎える医師会～医師会職員の心構えとは～」をテーマに開催する研修会で、名義後援を行い、各郡市医師会にも周知することが承認された。また、職員の派遣については、会長と事務局長に一任することとなった。

4. 11/21(土) (愛知) 全国学校保健・学校医大会の事前参加登録について

愛知県で開催される全国学校保健・学校医大会について、河野会長、小牧副会長、高木常任理事が出席すること、また、眼科医会、耳鼻咽喉科医会、各郡市医師会に案内することが承認された。

5. 県医師国民健康保険組合次期理事候補者について

任期満了に伴う推薦依頼で、小牧副会長、市来・高木・玉置常任理事、上山・河原理事の6名を推薦することが承認された。

6. 世界医師会準会員の更新について

本会から河野会長、小牧・金丸副会長を登録すること及び個人登録の会員については意向を確認のうえ手続きをすることが承認された。

7. 10/31(土) (西都市) 県高等学校総合体育大会県高等学校駅伝競走大会開催に伴う医師および看護師の派遣について

開催地である西都市西児湯医師会に入選を依頼することが承認された。

8. 令和9年度地域医療介護総合確保基金(医療分)に係る事業提案について

「地域医療構想の達成に向けた医療機関の施設又は設備の整備」、「居宅等における医療提供」、「医療従事者等の確保」に関する事業提案を、各郡市医師会、各専門分科医会、県医師会病院部会、県精神科病院協会、県有床診療所協議会に照会することが承認された。

9. 7/23(木) (九州厚生局宮崎事務所) 九州厚生局及び宮崎県による社会保険医療担当者の個別指導等の実施に係る立会いについて
2 医療機関を対象に行われる新規個別指導と個別指導で、松岡理事を立会人として派遣することが承認された。

(報告事項)

1. 週間報告について

2. 6月末日現在の会員数について

3. 7/5(日) (東京) 全国有床診療所協議会理事会・臨時社員総会・連盟執行委員会について

4. 7/6(月) (県立看護大学) 県地方独立行政法人評価委員会について

5. 7/2(木) (日南保健所) 日南串間地域医療構想調整会議について

6. 7/3(金) (小林保健所) 西諸地域医療構想調整会議について

7. 7/5(日) (県防災庁舎) 県災害医療コーディネート研修について

8. 7/6(月) (県医) 園医部会理事会について

9. 7/1(水) (県医) 組織強化・将来構想委員会小委員会について

10. 7/2(木) (都城保健所) 都城北諸県地域医療構想調整会議について

11. 7/3(金) (アートホテル) 病院部会・医療法人部会合同総会について

医師連盟関係

(議決事項)

1. 7/22(水)・23(木) (宮崎市民プラザ) 公明党宮崎県本部「政策要望懇談会」開催のご案内について

自民党県連へ提出した「国政に対する要望」と同内容を提出することが承認された。

令和8年7月14日(火) 第7回全理事協議会

医師会関係

(議決事項)

1. 本会外の役員等の推薦について

①県糖尿病・慢性腎臓病(CKD) 対策検討会構成員の推薦について

→県民の人工透析導入を予防し医療費の適正化を図ることを目的に設置される検討会の委員の任期満了に伴う推薦依頼があり、引き続き、玉置常任理事を推薦することが承認された。

2. 業務委託について

①令和8年度救急医療施設医師等研修業務の委託契約について

→救急医療に対する学識と技能向上を図ることを目的とした研修事業で、委託契約を締結することが承認された。

②令和8年度家族計画及び避妊指導に関する調査研究事業の委託契約について

→思いがけない妊娠の防止や家族計画・避妊指導の充実を目的に、実態調査やパンフレットの作成等を行う事業で、委託契約を締結することが承認された。

③令和8年度産業医研修事業の委託契約について

→認定医向けの生涯研修会と研修会を円滑に行うための産業医研修連絡協議会を開催する事業で、委託契約を締結することが承認された。

3. 後援・共催名義等使用許可について

①10/3(土)(宮日会館)宮崎健康フォーラムの名義後援について

→「宮崎市と始める最新の健康づくり」をテーマに開催される市民公開講座で、名義後援を行うことが承認された。

②8/30(日)(JAアズム)地域貢献等研究推進事業「AYA世代の女性のがんに関する健康推進事業」におけるイベントの名義後援について

→子宮頸がんおよび乳がんに関する正しい知識の普及、がん検診受診率の向上、HPVワクチンに対する理解促進を図り、県民の健康意識の向上に寄与することを目的とした県民公開講座で、名義後援を行うことが承認された。

4. 厚生功労に係る令和9年春の叙勲及び褒章候補者の推薦について

1名を推薦することが承認された。

5. 日本医師会会内委員会委員の推薦について

日医が設置する29の委員会について、九州ブロック枠の推薦依頼があり、役員に対し就任したい委員会があれば、事務局に申し出て、取扱いについては会長に一任することが承認された。

6. 8/22(土)(鹿児島)九州医師会連合会第431回常任委員会並びに第131回定例委員総会の開催について

常任委員会については河野会長が出席することが承認され、議題があれば事務局へ

提出し、取扱いについては会長に一任することが承認された。定例委員総会については、河野会長を含む8名の九医連役員の出欠を確認したうえで回答することが承認された。

7. 12/13(日)(宮崎市)青島太平洋マラソン2026救護態勢へのご協力をお願いについて

宮崎市において開催されるマラソン大会の救護体制に関する依頼で、協力することが承認された。

(報告事項)

1. 7/8(水)(県庁)県総合計画審議会について
2. 7/8(水)(日向保健所)日向入郷地域医療構想調整会議について
3. 7/9(木)(延岡保健所)延岡西臼杵地域医療構想調整会議について
4. 6/23(火)県国保等はり、きゅう及びあん摩マッサージ療養費審査委員会について
5. 7/6(月)(県防災庁舎)県精神科救急医療システム連絡調整委員会について
6. 7/13(月)(県医)勤務医部会理事会について
7. 7/2(木)(宮大医学部)宮大医学部医の倫理委員会について
8. 7/4(土)(県医)労災部会総会について
9. 7/9(木)(九州厚生局宮崎事務所)社会保険医療担当者の新規個別指導及び個別指導について

医師連盟関係

(議決事項)

1. 令和9年度国・県に対する政策・予算等要望について
案のとおり、国政に対する要望21項目、県政に対する要望46項目を自民党県連に提出することが承認された。
2. 8/22(土)(鹿児島)九州医連連絡会第27回執行委員会の開催について
河野委員長を含む8名の九州医連連絡会執行委員の出欠を確認したうえで回答することが承認された。

令和8年7月21日(火) 第8回全理事協議会**医師会関係
(議決事項)****1. 業務委託について**

①令和8年度自殺対策に係る人材育成研修業務の委託契約について

→自殺のハイリスク要因であるうつ病や自殺未遂等について医師や医療従事者を対象とした専門研修を行う事業で、委託契約を締結することが承認された。

2. 会費減免申請について

高齢による日医会費減免2名と、高齢による県医会費減免1名の申請が承認された。

3. 令和8年度救急医療功労者知事表彰候補者の推薦について

救急医療対策の推進等、救急医療の確保に貢献した医師等に対する表彰で4名を推薦することが承認された。

4. 日本医師会赤ひげ大賞候補者推薦のお願いについて

地域に根付き「かかりつけ医」として地域住民の日々の健康管理と診療を親身になって行っている「現代の赤ひげ」を検証するための推薦依頼で、1名を推薦することが承認された。

5. 県医師会の各種委員会について

本会に設置される32の委員会のうち28の委員会について、定款第57条及び県医師会委員会規程に基づき、委員構成及び委員長・副委員長を決定した。

6. 九州医師会連合会監事候補者の推薦について

令和8年7月から鹿児島県医師会が九州医師会連合会の担当県となり、隣県医師会から監事を推薦することになっているため、小牧副会長を推薦することが承認された。

7. 10/3(土) (鹿児島)「九州医師会連合会第432回常任委員会」並びに「九州医師会連合会第1回連絡協議会」の開催について

常任委員会については、河野会長が出席することが承認され、議題があれば事務局経由で会長に提出し、取扱いについては会長に一任することが承認された。連絡協議会については、発表内容の作成と発表者、その他出席役員をテーマと議題を考慮して、副会長と関係する担当理事が調整を行うことが承認された。

8. 10/3(土) (鹿児島)「九州医師会連合会第1**回勤務医連絡協議会」の開催について**

「勤務医×開業医でこれからの医師会を創る～勤務医が求める医師会像と医師会が求める勤務医像～」をテーマに開催される協議会で、本会からの出席役員と大学等からの出席について、田畑担当理事が調整を行うことが承認された。

9. 9/24(木)第1回医療機関勤務環境改善セミナーの開催について

医療機関の管理者、事務長、労務管理担当者等を対象に開催する研修会で、案のとおりに開催することが承認された。

10. 9/13(日) (日医)「日医かかりつけ医機能研修制度 令和8年度応用研修会 第1回」の開催について

日医で開催される第1回応用研修会の資料を用い、本県で11月22日に開催することが承認された。

**11. 8・9月の行事予定について
(報告事項)**

1. 7/11(土) (鹿児島) 九医連常任委員会について
2. 7/17(金) (沖縄) 九州各県保健医療福祉主管部長・九州各県医師会長合同会議について
3. 7/19(日) (シーガイア) 九州山口薬学大会について
4. 7/17(金) (県医) 都道府県医師会組織強化担当役員連絡協議会について
5. 7/18(土) (県医) 産業医研修会について
6. 7/17(金) (県防災庁舎) 県アドバンス・ケア・プランニング推進委員会について
7. 7/15(水) (県医) 広報委員会について
8. 7/16(木) (県医) 女性医師等保育支援サービスシステム事業サポート会員養成講座について
9. 7/1(水) (門川)・16(木) (高千穂) ロコモ予防運動推進事業養成講座について

**医師連盟関係
(議決事項)**

1. 7/28(火) (JAビル) 県経済団体協議会代表者・幹事合同会議の開催について
役員の代理出席を検討することが承認された。

(報告事項)

1. 7/11(土) (鹿児島) 九州医連連絡会常任執行委員会について
2. 7/18(土) (ひまわり荘) 自民党県連総務・支部長合同会議について

県 医 の 動 き

(8月)

1	日産婦医会性教育指導セミナー全国大会(上山理事) 九医連常任委員会(Web会議)(会長)
2	日産婦医会性教育指導セミナー全国大会(上山理事) 九プロ学校保健・学校医大会/九州学校検診協議会 (Web会議)(高木常任理事) 九医連学校医会総会(Web会議)(会長)
3	県地方独立行政法人評価委員会(小牧副会長) 全国医師会共同利用施設総会打合会会場視察 県感染症危機管理研修会・予防接種従事者研修会(Web会議) 県内科医会理事会(Web会議)(玉置常任理事他)
4	県総合計画審議会(金丸副会長) 日医災害対策本部会議(Web会議)(金丸副会長他) 第5回常任理事協議会(会長他)
7	県日本のひなた宮崎国スポ・障スポ実行委員会 常任委員会・総会・講演会(大塚常任理事) 県外科医会夏期講演会(Web会議)(田畑常任理事他)
10	県生活習慣病検診各部長連絡協議会(会長他)
17	県訪問看護ステーション連絡協議会役員会(金丸副会長他) 県有床診療所協議会意見交換会(玉置常任理事他)
18	日医災害対策本部会議(Web会議)(金丸副会長他) 第9回全理事協議会(Web会議)(会長他)
19	支払基金審査運営協議会(会長)
20	(都城市)社会保険医療担当者の個別指導(吉見常任理事) 県産婦人科医会全理事会(Web会議)(上山理事他)
21	県警察医会協議会(Web会議)(玉置常任理事)
22	県産婦人科医会新生児蘇生法講習会(児玉理事) 九医連常任委員会(Web会議)(会長)

23	中四九地区医師会看護学校協議会(Web会議)(赤須常任理事) 河野しゅんじ後援会事務所開き(委員長)
24	県地域医療対策協議会プログラム運用部会(大塚常任理事) 県地域医療対策協議会(会長他) 広報委員会(高木常任理事他)
25	日医災害対策本部会議(Web会議)(金丸副会長他) 県国保等はり、きゅう及びあん摩マッサージ療 養費審査委員会(大塚常任理事) 予防接種事務のデジタル化に係る説明会 (Web会議)(高木常任理事他) 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会 医師協理事会(Web会議)(河野理事長他) 医師協理事・運営委員合同協議会(Web会議)(河野理事長他) 第10回全理事協議会(Web会議)(会長他)
26	労災診療指導委員会・労災部会理事会(赤須常任理事他) 県周産期医療協議会
27	社会保険医療担当者の新規個別指導及び個別指導(上山理事) 組織強化・将来構想委員会(会長他)
28	宮大学長選考・監察会議(会長) 学校医部会総会・医学会(Web会議)(会長他)
29	保育支援事業スキルアップ研修会・全体顔合わせ会(濱砂常任理事他) 日医シンポジウム「未来ビジョン“若手医師の 挑戦” in KYOTO」(Web会議)(大塚常任理事他) 産業医研修会(前期)(河原理事) (長崎)九州地区医師国保組合連合会監査会 (長崎)九州地区医師国保組合連合会理事会・ 全体協議会(小牧理事長) (福岡)九医協連理事会(金丸副会長) 赤澤経済産業大臣との意見交換会・講演会(中島理事)
30	人体シミュレータを用いた在宅医療研修会(吉見常任理事)
31	ワークインライフ委員会(Web会議)(会長他) 県産婦人科医会医療保険委員会(Web会議) 宮崎市郡医師会救急告示医療機関連絡協議会(金丸副会長)

ドクターバンク情報

(無料職業紹介所)

令和8年8月1日現在

本会では、会員の相互情報サービスとしてドクターバンク（求人・求職等の情報提供）を設置しております。登録された情報は、当紹介所で管理し秘密は厳守いたします。

現在、下記のとおり情報が寄せられております。お気軽にご利用ください。

お申し込み・お問い合わせは当紹介所へ直接お願いいたします。

また、宮崎県医師会ホームページでも手続きと情報のあらましを紹介しておりますのでご覧ください。

1. 求職者登録数 12人

希望診療科目	求 職 数	常 勤	非 常 勤
内 科	5	2	3
外 科	1	0	1
整 形 外 科	1	1	0
精 神 科	1	1	0
眼 科	1	0	1
消 化 器 内 科	1	0	1
放 射 線 科	1	0	1
神 経 内 科	1	0	1

2. 斡旋成立件数 111人

	合 計
令和8年度(4/1～8/1)	1
平成16年度から累計	111

3. 求人登録 82件 231人

(人)

募集診療科目	求人数	常 勤	非常勤
内 科	63	41	22
外 科	14	12	2
整 形 外 科	18	16	2
精 神 科	8	7	1
脳 神 経 外 科	2	2	0
循 環 器 科	12	10	2
消 化 器 内 科	17	12	5
麻 酔 科	5	4	1
眼 科	7	4	3
放 射 線 科	5	5	0
小 児 科	3	2	1
呼 吸 器 科	0	0	0
在 宅 診 療	3	2	1
総合診療科・内科	9	7	2
脳 神 経 内 科	1	1	0
呼 吸 器 内 科	8	7	1
リハビリテーション科	5	3	2
救 命 救 急 科	8	5	3

募集診療科目	求人数	常 勤	非常勤
消 化 器 外 科	7	4	3
乳 腺 外 科	2	2	0
健 診	2	2	0
泌 尿 器 科	4	3	1
産 婦 人 科	0	0	0
検 診	0	0	0
皮 膚 科	0	0	0
婦 人 科	0	0	0
呼 吸 器 外 科	0	0	0
人 工 透 析	12	9	3
リウマチ科	2	1	1
臨床病理科	0	0	0
形 成 外 科	0	0	0
診療科目不問	8	4	4
緩和ケア	3	3	0
内分泌糖尿病内科	3	3	0
そ の 他	0	0	0
合 計	231	171	60

求 人 登 録 者 (公 開)

※求人情報は、申し込みが必要です。宮崎県医師協同組合、
無料職業紹介所（ドクターバンク）へお申し込み下さい。

※下記の医療機関は、公開について同意をいただいております。

登録番号	施 設 名	所在地	募集診療科	求人数	勤務形態
160013	医)三晴会 金丸脳神経外科病院	宮崎市	整,リハ,神内,循内,脳外	5	常勤・非常勤
160017	医)宮崎博愛会 さがら病院宮崎	宮崎市	乳外,緩和	2	常勤
160031	社医)同心会 古賀総合病院	宮崎市	内,外,整	4	常勤・非常勤
170048	社医)慶明会 けいめい記念病院	国富町	内	2	常勤・非常勤
190087	公社)宮崎市郡医師会病院	宮崎市	消内,呼内,総診	5	常勤
190094	社医)耕和会 迫田病院	宮崎市	外,整,総診	3	常勤
190095	社医)慶明会 宮崎中央眼科病院	宮崎市	眼	1	常勤
200104	社医)善仁会 宮崎善仁会病院	宮崎市	救急,外,呼内,消内,糖内	11	常勤・非常勤
200105	医)誠友会 南部病院	宮崎市	外,内,放	3	常勤
210110	医)幸秀会 大江整形外科病院	宮崎市	整	1	常勤
230139	社福)介護老人保健施設 サンフローラみやざき	国富町	内	1	非常勤
230144	生協)宮崎生協病院	宮崎市	消内,腎内,透,循内,呼内,内,健診,麻	15	常勤・非常勤
230146	財)潤和リハビリテーション振興財団潤和会記念病院	宮崎市	整,脳外,緩和,救急	4	常勤
230177	医)社団尚成会 近間病院	宮崎市	内,消内,消外	4	常勤・非常勤
230185	医)朋詠会 獅子目整形外科病院	宮崎市	整,内	2	常勤
230194	医)財団シロアム会 新城眼科医院	宮崎市	眼	2	常勤・非常勤
230196	医)社団高信会 辰元病院	宮崎市	内	1	常勤
230209	財)弘潤会 野崎東病院	宮崎市	内	1	常勤
230213	医)聖美会 南宮崎ヤマモト腎泌尿器科	宮崎市	泌,内,透 (いずれか)	1	常勤
230214	医)聖美会 青島リゾートクリニック	宮崎市	内,外,リハ (いずれか)	1	常勤
230215	医)社団紘和会 平和台病院	宮崎市	糖内,消内	3	常勤
230217	医)けいあい かいクリニック	宮崎市	整,リハ,リウ	6	常勤・非常勤
230220	医)社団 宮崎医療センター病院	宮崎市	総診,内,消内,呼内,整 (いずれか)	1	常勤
230224	医)雅会 河野整形外科	宮崎市	内	1	非常勤
230227	医)マナビヤ マナビヤ在宅クリニック「un」	宮崎市	不問	3	常勤・非常勤
230230	医)りっか会 ピア・ささき病院	宮崎市	精,内	3	常勤・非常勤
230235	医)青葉会 のぎきクリニック	宮崎市	内,整	2	常勤
230241	医)慈光会 宮崎若久病院	宮崎市	精	1	常勤
230243	医)よしき会 どんぐりこども診療所	宮崎市	小	1	常勤
230246	医)灯仁会 あおやま訪問・救急クリニック	宮崎市	救急,内,在宅,総診,不問	10	常勤・非常勤
230247	滝口内科	宮崎市	精	2	常勤・非常勤
230250	医)恒友会 ひろせみらいクリニック	宮崎市	内,透,泌 (いずれか)	2	常勤・非常勤
230252	あかり在宅クリニック	宮崎市	内,外,緩和	3	常勤
160010	特医)敬和会 戸嶋病院	都城市	内	1	常勤
160018	医)宏仁会 メディカルシティ東部病院	都城市	整,消内,消外,麻,循内	5	常勤
170057	医)清陵会 隅病院	都城市	内,整,訪診	3	常勤
190092	公社)都城市郡医師会病院	都城市	内,呼内,消内	6	常勤
230127	医)倫生会 三州病院	都城市	内,消内,消外,外,乳外,麻,緩和	6	常勤・非常勤

登録番号	施 設 名	所在地	募集診療科	求人数	勤務形態
230137	医) 宏仁会 海老原内科	都城市	内	1	常勤
230162	一社) 藤元メディカル藤元総合病院	都城市	内, 循内, 救急, 呼内, 放	10	常勤
230179	医) 与州会 柳田病院	都城市	外	1	常勤
230181	医) 社団牧会 介護老人保健施設はまゆう	三股町	内	1	常勤
230192	医) 社団明晴会 速見泌尿器科内科医院	都城市	腎内	1	常勤・非常勤
230208	医) 社団樺の葉 ホームクリニックみまた	三股町	内	1	常勤・非常勤
230225	医) 社団明恵会 早水公園クリニック	都城市	内	2	常勤・非常勤
230244	医) 社団清風会 清風会クリニック	都城市	血内, 泌, 腎内	6	常勤・非常勤
160012	医) 伸和会 延岡共立病院	延岡市	整, 内, 放	4	常勤
160021	医) 建悠会 吉田病院	延岡市	精	1	常勤
190086	医) 早田病院	延岡市	消内, 循内	2	常勤
200100	医) 育生会 井上病院	延岡市	小	1	常勤
200102	一社) 延岡市医師会病院	延岡市	内, 消内, 消外, 放	4	常勤
210109	一社) 延岡市夜間急病センター	延岡市	内, 小	2	非常勤
230186	医) 隆誠会 延岡保養園	延岡市	精, 内	2	常勤
230189	特医) 健腎会 おがわクリニック	延岡市	泌, 透	2	常勤
230203	医) 杉杏会 杉本病院	延岡市	内	1	非常勤
230210	医) あつきこころ 大貫診療所	延岡市	内, 外 (いずれか)	1	常勤
230219	財) 延岡リハビリテーション病院	延岡市	内, 整, リハ	3	常勤
230238	医) en. 縁・在宅クリニック	延岡市	不問	2	常勤・非常勤
230245	医) 健寿会 黒木病院	延岡市	消内, 消外	2	非常勤
160039	医) 誠和会 和田病院	日向市	外	2	常勤
230200	医) おざきメディカルアソシエイツ 尾崎眼科	日向市	眼	1	常勤・非常勤
230232	医) 社団弘文会 松岡内科医院	日向市	内, 透 (いずれか)	1	非常勤
230239	稲原眼科医院	日向市	眼	1	非常勤
230249	医) 洋承会 今給黎医院	日向市	内, 循内	2	非常勤
160023	医) 宏仁会 海老原総合病院	高鍋町	内, 外, 麻, 健診	4	常勤
230223	医) 聖山会 川南病院	川南町	内, 腎内	3	常勤
160024	医) 隆徳会 鶴田病院	西都市	内, 外, 整, 総診, 透, 循内	6	常勤
150002	社医) 慶明会 おび中央病院	日南市	内, リハ	3	常勤・非常勤
160022	医) 愛鍼会 山元医院	日南市	内	1	常勤
160037	医) 十善会 県南病院	串間市	精, 内	2	常勤
230149	社医) 介護老人保健施設 おびの里	日南市	内	1	常勤
230188	医) 春光会 春光会記念病院	日南市	内, 整	4	常勤・非常勤
230211	医) 秀英会 介護老人保健施設長寿の里	串間市	不問	1	常勤
230236	医) 和真会 東内科クリニック	日南市	透	1	常勤
160019	医) 相愛会 桑原記念病院	小林市	循内, 内, 外	4	常勤・非常勤
170043	医) 和芳会 小林中央眼科	小林市	眼	2	常勤・非常勤
180076	医) けんゆう会 園田病院	小林市	外, 内, 総診	6	常勤・非常勤
190091	医) 友愛会 野尻中央病院	小林市	内	1	非常勤
230169	医) 連理会 和田クリニック	小林市	腎内, 泌, 内	2	常勤・非常勤
230197	医) 友光会 整形外科押領司病院	小林市	整, 内, 循内	3	常勤・非常勤
230218	医) 養気会 池井病院	小林市	腎内	1	常勤
230237	医) 東陽会 整形外科前原病院	小林市	整	1	常勤

病医院施設の譲渡・賃貸

◆譲渡、賃貸希望の物件を紹介いたします。

令和8年8月1日現在

1. 譲渡物件	① 宮崎市阿波岐ヶ原町前田2633番, 2634番〔林クリニック〕 土地のみ: 2,022.17㎡ (612.77坪)
	② 西都市中央町2丁目6番地〔図師医院〕 土地: 2,280.83㎡ (691.16坪) 建物: 鉄筋コンクリート造陸屋根3階建 1階 674.74㎡ 2階 547.79㎡ 3階 177.95㎡ 計 1,400.48㎡ (424.38坪) ※別途駐車場あり(20台)
	③ 延岡市無鹿町1丁目710〔江崎医院〕 土地: 1,654.58㎡ (501.38坪) 建物: 鉄筋コンクリート造陸屋根4階建 1階 145.76㎡ 2階 338.70㎡ 3階 330.69㎡ 4階 14.25㎡ 計 829.40㎡ (251.33坪) ※駐車場あり(50台)
	④ 日向市財光寺615〔吉田クリニック〕 土地: 1,704.79㎡ (515.70坪) 建物: 鉄筋コンクリート2階建 1階 333.69㎡ 2階 117.27㎡ 車庫 36.60㎡ 計 487.56㎡ (147.49坪) ※駐車場あり(16台)
	⑤ 延岡市本町2丁目3-5〔戸島クリニック〕 土地: 893.18㎡ (270.19坪) 建物: 木造スレート葺2階建 1階 173.08㎡ 2階 44.72㎡ 計 217.80㎡ (65.89坪) ※駐車場あり(15台)
2. 賃貸物件又は 譲渡物件	① 児湯郡川南町大字平田1402-74〔林クリニック〕 土地: 4,449㎡ (1,348.18坪) 建物: 鉄骨セメント造平屋建 1階 825.66㎡ (250.20坪) ※駐車場あり(70台)
3. 賃貸物件	① 宮崎市大字本郷南方字榎田2541番地1〔滝口内科(旧)のぞみ医院〕 土地: 750.44㎡ (227.40坪) 建物: 木造スレートぶき2階建 1階 255.27㎡ 2階 73.50㎡ 計 328.77㎡ (99.62坪) ※駐車場あり(15台)
	② 宮崎市大字本郷南方2456番地1〔平部整形外科医院〕 土地: 1801.76㎡ (545.03坪) 建物: 鉄筋コンクリート造陸屋根3階建 1階 282.52㎡ (85.46坪) ※駐車場あり(20台)
	③ 宮崎市大橋1丁目97番地2〔金田礼子ひふ科医院〕 土地: 1,606.82㎡ (486.06坪) 建物: 木造スレート葺2階建 1階 107.84㎡ (32.62坪) 2階 69.04㎡ (20.88坪) 計 176.88㎡ (53.51坪) ※駐車場あり(10台)

ドクターバンク無料職業紹介所利用のご案内

1. 取扱範囲は宮崎県内全域です。但し、求職者は県外でも結構です。
2. 紹介受付は、月～金の9時～12時及び13時～17時です。
3. 申込み方法は、所定の用紙「求職票」「求人票」にご記入後登録させていただきます。
4. ご希望に沿った先を斡旋させていただきます。
5. 求職者の紹介時には各医療機関で医師免許等のご確認をお願いいたします。
6. 斡旋成立時の紹介料は、「求人」「求職」いずれも無料です。

☐お問合せ先

ドクターバンク無料職業紹介所

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地(宮崎県医師協同組合)

TEL 0985-23-9100(代)・FAX 0985-23-9179 E-mail: isikyoku@miyazaki.med.or.jp

宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

令和8年8月25日

9				月				
1	火	19：00	第6回常任理事協議会（会長他）	17	木	18：30	社会保険医療担当者の集团的個別指導	↑
2	水	18：00	九州学校検診協議会専門委員会（心臓部門）（Web会議）（高木常任理事）			19：00	県有床診療所協議会総会・講演会（Web会議）（中島理事）	
		19：00	宮崎大学医学部との組織強化に関する意見交換会（会長他）	18	金	19：00	宮大未来の医療を語るオールみやざき交流会（会長他）	
3	木	14：30	地方公務員災害補償基金宮崎県支部審査会（河原理事）			19	土	
		16：30	県立病院事業評価委員会（会長）	20	日			
4	金	19：00	認知症サポート医・かかりつけスキルアップ研修会（Web会議）（吉見常任理事）	21	月	（敬老の日）		国保審査
5	土		全国国保組合協会九州支部幹事会・総会・役職員研修会（書面開催） 県医師会医学会（Web会議）（会長他）	22	火	（国民の休日）		
		15：30		23	水	（秋分の日）		
6	日			24	木	14：30	県国保等はり、きゅう及びあん摩マッサージ療養費審査委員会（大塚常任理事）	↓
7	月	18：00	九州学校検診協議会専門委員会（腎臓部門）（Web会議）			19：00	広報委員会（高木常任理事他）	
						19：00	県との妊婦健診等に関する協議会（上山理事他）	
8	火	18：00	九州学校検診協議会専門委員会（小児生活習慣病等部門）（Web会議）			19：00	医療機関勤務環境改善セミナー（Web会議）（濱砂常任理事）	
9	水	19：00	医学会誌編集委員会（Web会議）（小牧副会長他）	25	金	19：00	健康教育委員会（Web会議）（会長他）	↓
10	木	19：00	県産婦人科医会常任理事会（Web会議）（上山理事他）			19：00	広報委員会勉強会（金丸副会長他）	
11	金	19：00	三師会懇談会（河野委員長他）	26	土	15：00	県産婦人科医会・県産科婦人科学会秋期定時総会・市民公開講座（Web会議）（上山理事他）	
12	土					27	日	
13	日			28	月	18：45	園医部会総会・研修会（Web会議）（高木常任理事他）	
14	月	19：00	広報委員会（高木常任理事他）					
15	火	15：00	（日医）都道府県医師会会長会議（会長）	29	火	13：30	宮崎県地域両立支援推進チーム（協議会）（山中理事）	
		18：00	九州学校検診協議会専門委員会（運動器部門）（Web会議）			18：00	九州地方社会保険医療協議会宮崎部会	
19：00	健康スポーツ医学委員会（Web会議）（小牧副会長他）	18：00	医師協理事会（河野理事長他）					
			18：30			医師協理事・運営委員合同協議会（河野理事長他）		
16	水	13：30	全国国保組合協会理事長・役員研修会（Web会議）（小牧理事長）			終了後	第12回全理事協議会（会長他）	
		16：00	支払基金審査運営協議会（会長）			19：00	各郡市医師会長協議会（会長他）	
				30	水	15：00	労災診療指導委員会・労災部会理事会（赤須常任理事他）	

※都合により、変更になることがあります。

行事予定は県医師会のホームページからご覧になれます

※都合により、変更になることがあります。
行事予定は県医師会のホームページからご覧になれます。

宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

令和8年8月25日

10			月			
1	木	19:00 在宅医療研修会企画小委員会 (Web会議) (吉見常任理事)	17	土	14:30 産業医研修会 (TV会議) (山中理事)	↑
2	金	損保ジャパンとの懇談会 (会長他)	18	日	13:30 県小児科医会秋季学術講演会 (高木常任理事)	
3	土	9:00 ICLS指導者養成ワークショップ	19	月	18:50 医療現場のワークライフバランス セミナー (Web会議) (会長他)	国 保 審 査
		14:00 (鹿児島) 九医連勤務医連絡協議会 (会長他)	20	火		
		14:00 県認知症高齢者グループホーム連絡協議 会全体研修会 (Web会議) (吉見常任理事)	21	水	19:00 広報委員会 (高木常任理事他)	↑ ↓
		15:30 (鹿児島) 九医連常任委員会 (会長)	22	木	14:30 県国保等はり、きゅう及びあん摩マッサー ジ療養費審査委員会 (大塚常任理事)	
4	日	8:30 ALS研修会			18:20 県プライマリ・ケア研究会世話人会・ 総会・研修会 (Web会議) (会長他)	社 保 審 査
5	月				19:00 県糖尿病発症予防・糖尿病性腎症重症化予 防研修会 (Web会議) (玉置常任理事)	
6	火	18:30 第13回全理事協議会 (会長他) 19:00 宮崎大学と県医師会との懇談会 (会長他)	23	金		↓
7	水		24	土	15:00 九州各県内科医会連絡協議会 (Web会議) (玉置常任理事)	
8	木	19:00 県産婦人科医会常任理事会 (Web会議) (上山理事他)			15:00 (大分) 日医女性医師支援・ドクター バンク連携九州ブロック会議	
9	金		25	日	10:00 (日医) 日医社会保険指導者講習会	
10	土	12:30 (秋田) 全国医師国保組合連合会代 表者会・全体協議会 (小牧理事長)	26	月		
11	日	13:30 宮崎から医師を目指そう！応援フォーラム	27	火	18:00 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会 (玉置常任理事)	
12	月	(スポーツの日)			18:30 医師協理事会 (Web会議) (河野理事長他)	
13	火	19:00 第7回常任理事協議会 (会長他)	28	水	19:00 医師協理事・運営委員合同協議会 (Web会議) (河野理事長他)	
14	水	公衆衛生・感染症委員会 (Web会議) (会長他) 16:30 支払基金審査運営協議会 (会長)			終了後 第14回全理事協議会 (Web会議) (会長他)	
15	木	19:00 広報委員会 (高木常任理事他)	29	木		
16	金	18:00 医師クラーク育成・スキルアップ研修会 (Web会議)	30	金		
※都合により、変更になることがあります。 行事予定は県医師会のホームページからご覧になれます。			31	土	14:30 産業医研修会 (実地) (井上理事)	
					16:00 病院部会・医療法人部会合同研修会 (赤須常任理事他)	

作品
募集中

生命

いのち

第10回

を見つめる
フォト&エッセー生命の大切さや
心温まるエピソードを
写真やエッセーで
伝えてみませんか

応募締め切り

2026年
10月2日(金)
必着

フォト部門

生命の尊さを感じさせる、
あるいは生命の輝く瞬間を
とらえた作品を募集します。最高
賞金 10 万円

審査員 (順不同、敬称略)

熊切大輔
日本写真家協会会長岩合光昭
動物写真家
©Machi Iwano 他

エッセー部門

医師や看護師との交流、ご
家族の介護や生命の誕生に
まつわる話などを募集します。最高
賞金 30 万円

審査員 (順不同、敬称略)

養老孟司
東京大学名誉教授
/ 解剖学者玄侑宗久
作家 / 福原寺住職水野真紀
俳優 他公式ホームページ <https://jigyou.yomiuri.co.jp/photo-essay/>

生命を見つめるフォト&エッセー 検索



主催：日本医師会、読売新聞社 後援：厚生労働省、文部科学省 協賛：東京海上日動火災保険株式会社、東京海上日動あんしん生命保険株式会社

医 学 会 ・ 講 演 会

日本医師会生涯教育講座認定学会

単位：日本医師会生涯教育制度認定単位数，CC：カリキュラムコード

がん検診：各種がん検診登録・指定・更新による研修会 (胃)・(大腸)・(肺)・(乳)

[現地]…現地参加のみ [現地・Web]…現地参加またはWeb聴講

[Web]…Web聴講のみ ※Webの場合，会場は記載いたしません。

詳細および最新情報はこちら



宮崎県内科医会学術講演会

9月1日(火) 19:00～20:00 [現地・Web]

KITENビル

「高齢者の肺炎対策

～高用量インフルエンザHAワクチンを含めて～」

宮崎大学医学部 内科学講座

呼吸器・膠原病・感染症・脳神経内科学 教授

宮崎 泰可

主催：宮崎県内科医会

共催：サノフィ(株) ☎080-6628-7718

CC(単位)：8 (1.0)

日向市東臼杵郡医師会学術講演会

9月1日(火) 19:00～20:00 [現地・Web]

ホテルベルフォート日向

「プライマリでできるアルツハイマー型認知症治療 ～ドネペジル貼付剤（アリドネパッチ）の使い どころを考える～」

宮崎大学医学部 臨床神経科学講座

精神医学分野 准教授

船橋 英樹

主催：日向市東臼杵郡医師会 ☎0982-52-0222

日向市東臼杵郡医師会内科医会

共催：興和(株)

CC(単位)：29 (1.0)

令和8年度糖尿病性腎症重症化予防研修会

9月2日(水) 19:00～20:30 [現地・Web]

宮崎県日南保健所

「宮崎県におけるCKD重症化予防対策と連携体 制について（仮）」

宮崎大学医学部附属病院 腎臓内科長

菊池 正雄

主催：宮崎県日南保健所 ☎0987-23-3141

CC(単位)：76 (1.0)

西都市西児湯内科医会学術講演会

9月3日(木) 19:00～20:15 [現地・Web]

西都市西児湯医師会館

「無呼吸だけじゃない！睡眠障害の日常診療

～「眠れない・眠い」～へのアプローチとCPAP
の最新動向～」

潤和会記念病院 脳神経内科 医長 中尾 紘一

主催：西都市西児湯内科医会

共催：西都市西児湯医師会 ☎0983-43-1687

帝人ヘルスケア(株)

CC(単位)：20 (1.0)

第40回認知症サポート医・かかりつけ医スキル アップ研修会

9月4日(金) 19:00～21:00 [現地・Web]

宮崎県医師会館

「アルツハイマー病による軽度認知障害の一症例」

野崎病院 認知症疾患医療センター長

宇田川 充隆，他

他演題あり

主催：宮崎県医師会 ☎0985-22-5118

共催：宮崎県認知症疾患医療センター

CC(単位)：29 (2.0)

延岡医学会学術講演会

9月4日(金) 19:00~20:00 [現地・Web]

エンシティホテル延岡

「貧血の鑑別診断と骨髄異形成症候群の最近の治療」

県立延岡病院 内科 主任部長

兼 化学療法センター長

兼 化学療法科 主任部長

外山 孝典

主催：延岡医学会

共催：ブリストル・マイヤーズスクイブ(株)

連絡先：延岡市医師会 ☎0982-21-1300

CC(単位)：12 (1.0)

第37回宮崎県糖尿病教育セミナー

9月6日(日) 9:55~16:45 [現地]

南九州大学 都城キャンパス

「糖尿病UP DATE 腎臓を守るためにできること」

宮崎大学医学部 内科学講座

循環器・腎臓内科学分野 助教 皆川 明大

「スティグマをなくすために医療従事者がすべきこと」

宮永病院糖尿病センター 医師 中村 孝之

「外食・中食の支援～選び方を支える栄養指導～」

宮永病院 管理栄養士 永山 美里

「調剤薬局における腎機能評価と治療支援」

総合メディカル(株) そうごう薬局三股仲町店

薬剤師 福山 陽子

「糖尿病性腎症とともに歩む人をケアする」

平和台病院 看護師 脇坂 幸江

「糖尿病合併症に対する運動療法

～糖尿病性腎症中心に～

都城市郡医師会病院 理学療法士

土屋 美香子

「歯周病を一から考える

～口から始まる糖尿病管理～

永井歯科医院 院長 永井 省二

「糖尿病性腎症の食事療法

～低タンパク、高脂肪食に対する患者の戸惑い～

西浦病院 管理栄養士 稲次 里美

主催：宮崎県糖尿病懇話会 ☎0985-22-8015

共催：宮崎地域糖尿病療養指導士認定機構

(株)三和化学研究所

後援：宮崎県医師会、都城市北諸県郡医師会

宮崎県薬剤師会、宮崎県病院薬剤師会

宮崎県歯科医師会、宮崎県看護協会

宮崎県栄養士会、宮崎県臨床検査技師会

CC(単位)：4 (1.0), 19 (0.5), 73 (1.0),

76 (2.0), 82 (0.5)

参加費：3,000円

令和8年度 第2回都城市CKD予防連携医研修会

9月8日(火) 19:00~20:15 [現地・Web]

未来創造ステーション会議室

「糖尿病と腎臓をつなぐ治療戦略

～オゼンピックの可能性～

福岡大学医学部 内分泌・糖尿病内科学 教授

川浪 大治

主催：都城市北諸県郡医師会 ☎0986-22-0711

共催：ノボノルディスクファーマ(株)

住友ファーマ(株)

後援：都城市

CC(単位)：76 (1.0)

宮崎県医師会産業医研修会

9月9日(水) 19:00~21:00 [現地]

宮崎県医師会館

「企業における受動喫煙防止対策と禁煙支援」

産業保健相談員

産業医

江藤 敏治

主催：宮崎産業保健総合支援センター

☎0985-62-2511

共催：宮崎県医師会

CC(単位)：11 (2.0)

生涯研修の専門研修会：2単位

西諸医師会・西諸内科医会合同学術講演会

9月11日(金) 19:00~20:00 [現地・Web]

西諸医師会館

「認知症の早期診断とその対応

～アルツハイマー型認知症を中心に～

社会医療法人慶明会 けいめい記念病院 副院長

岡原 一徳

主催：西諸医師会 ☎0984-23-2113

共催：西諸内科医会、エーザイ(株)

バイオジェン・ジャパン(株)

CC(単位) : 29 (0.5)

延岡医学会学術講演会

9月11日(金) 19:00~20:00 [現地・Web]

キャトルセゾンマツイ

「糖尿病治療におけるイメグリミンの役割」

医療法人社団紘和会 平和台病院 西 勇一

主催：延岡医学会

共催：住友ファーマ(株)

連絡先：延岡市医師会 ☎0982-21-1300

CC(単位) : 76 (1.0)

令和8年度宮崎県緩和ケア研修会

9月12日(土) 8:35~16:50 [現地]

県立宮崎病院

「e-learningの復習・質問」

県立宮崎病院 緩和ケア科 主任部長

義川 祐子, 他

「コミュニケーション」

医療法人清芳会 井上病院 医師

並木 薫, 他

「全人的苦痛に対する緩和ケア」

宮崎医療センター病院 緩和ケア内科 部長

高橋 稔之, 他

「療養場所の選択と地域連携」

医療法人社団誠和会 藤木病院 院長

藤木 啓, 他

「がん患者等への支援」

県立宮崎病院 患者支援センター 師長

鏡 あき子, 他

主催：県立宮崎病院 ☎0985-24-4181

CC(単位) : 4 (1.5), 5 (0.5), 10 (1.5),
13 (1.5), 15 (0.5)

西諸医師会・西諸内科医会合同学術講演会

9月14日(月) 19:00~20:00 [現地・Web]

西諸医師会館

「最新の糖尿病治療とトピック」

宮崎大学医学部 内科学講座

血液・糖尿病・内分泌内科学分野 講師

上野 浩晶

主催：西諸医師会 ☎0984-23-2113

共催：西諸内科医会, 住友ファーマ(株)

CC(単位) : 76 (1.0)

日向市東臼杵郡医師会学術講演会

9月14日(月) 19:00~20:00 [現地・Web]

ホテルパルフォート日向

「間質性肺炎診療の初期対応と最近の話題」

宮崎大学医学部 内科学講座

呼吸器・膠原病・感染症・脳神経内科学分野

准教授

柳 重久, 他

他演題あり

主催：日向市東臼杵郡医師会 ☎0982-52-0222

日向市東臼杵郡医師会内科医会

共催：日本ベーリンガーインゲルハイム(株)

CC(単位) : 45 (1.0)

宮崎県医師会産業医研修会

9月16日(水) 19:00~21:00 [現地]

宮崎県医師会館

「働く女性の健康問題を考えよう」

宮崎大学医学部大学院 看護学研究科 教授

金子 政時

主催：宮崎産業保健総合支援センター

☎0985-62-2511

共催：宮崎県医師会

CC(単位) : 0 (2.0)

生涯研修の専門研修会：2単位

第208回宮崎心臓病研究会

9月16日(水) 19:00~19:45 [Web]

「病理とイメージングから考えるDrug Interventionの意義」

横浜市立大学医学部 循環器内科学 准教授

大塚 文之

主催：宮崎心臓病研究会

共催：アムジェン(株)

連絡先：宮崎市郡医師会病院 ☎0985-77-9101

CC(単位) : 75 (0.5)

宮崎県医師会産業医研修会

9月25日(金) 14:00~16:00 [現地]

宮崎県医師会館

「有害化学物質の管理」

産業保健相談員

宮崎大学 国際連携機構・国際連携センター

客員教授

黒田 嘉紀

主催：宮崎産業保健総合支援センター

☎0985-62-2511

共催：宮崎県医師会

CC(単位)：11 (2.0)

生涯研修の専門研修会：2単位

宮崎県医師会産業医研修会

9月30日(水) 19:00~21:00 [現地]

日南市テクノセンター

「企業における受動喫煙防止対策と禁煙支援」

産業保健相談員

産業医

江藤 敏治

主催：宮崎産業保健総合支援センター

☎0985-62-2511

共催：宮崎県医師会

CC(単位)：11 (2.0)

生涯研修の専門研修会：2単位

明日からの外来が変わる“新しい骨粗鬆症診療”

9月30日(水) 19:00~20:30 [現地・Web]

宮崎観光ホテル

「骨粗鬆症加療“骨折を防ぐ”をどう伝えるか？」

獅子目整形外科病院 院長

獅子目 亨

「“今”治療すべき理由**- Imminent fracture riskに基づくOVF診療」**

東海大学医学部 外科学系整形外科学 准教授

檜山 明彦

主催：宮崎県整形外科医会

共催：アステラス製薬㈱ ☎080-1310-6167

後援：アムジェン㈱

CC(単位)：77 (1.0)

第209回宮崎心臓病研究会

10月5日(月) 19:00~20:10 [現地・Web]

宮崎観光ホテル

「完全習得！降圧薬治療STEP in JSH 2025」

鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科

心臓血管・高血圧内科学 教授 大石 充, 他
他演題あり

主催：宮崎心臓病研究会

共催：第一三共㈱

連絡先：宮崎市郡医師会病院 ☎0985-77-9101

CC(単位)：82 (1.0)

宮崎県医師会産業医研修会

10月7日(水) 19:00~21:00 [現地]

宮崎県医師会館

「自殺対策について」

産業保健相談員

中村クリニック 院長

中村 究

主催：宮崎産業保健総合支援センター

☎0985-62-2511

共催：宮崎県医師会

CC(単位)：70 (2.0)

生涯研修の専門研修会：2単位

宮崎県医師会産業医研修会

10月8日(木) 19:00~21:00 [現地]

日南市テクノセンター

「自律的な化学物質管理とCREATE-SIMPLEを用いたリスクアセスメント」

産業保健相談員

なかほぎ労働衛生コンサルタント事務所 所長

中甫木 直樹

主催：宮崎産業保健総合支援センター

☎0985-62-2511

共催：宮崎県医師会

CC(単位)：0 (2.0)

生涯研修の実地研修会：2単位

第20回宮崎心臓リハビリテーションセミナー

10月13日(火) 18:20~20:00 [現地・Web]

KITENビル

「維持期心リハを民間運動施設との連携で担う取り組み」Doctor's Fitness診療所 宮脇 大, 他
他演題あり

主催：宮崎心臓病研究会

共催：(株)アステム

日本ベーリンガーインゲルハイム(株)

☎080-2183-8957

CC(単位)：43 (1.5)

宮崎県医師会産業医研修会

10月14日(水) 19:00~21:00 [現地]

宮崎県医師会館

「職場労災：腰痛の予防と悪化防止」

産業保健相談員

産業医 江藤 敏治

主催：宮崎産業保健総合支援センター

☎0985-62-2511

共催：宮崎県医師会

CC(単位)：60 (2.0)

生涯研修の専門研修会：2単位

宮崎県医師会産業医研修会

10月15日(木) 19:00~21:00 [現地]

宮崎県医師会館

**「化学物質管理者制度と産業医
～化学物質の性状に関連の強い災害～」**

産業保健相談員

労働衛生コンサルタント 下津 義博

主催：宮崎産業保健総合支援センター

☎0985-62-2511

共催：宮崎県医師会

CC(単位)：0 (2.0)

生涯研修の専門研修会：2単位

第215回宮崎県眼科医会講習会

10月17日(土) 17:20~19:30 [現地]

ひなたキャンパス

**「新生血管型加齢黄斑変性の新治療戦略
～With MNV～」**日本大学医学部 視覚科学系眼科学分野
診療教授 森 隆三郎**「眼内リンパ腫を見逃さないために
～診断の進歩と最新の治療戦略～」**

自治医科大学 眼科学講座 教授 蕪城 俊克

主催：宮崎県眼科医会 ☎0985-28-1015

共催：中外製薬(株)

CC(単位)：36 (2.0)

参加費：3,000円

宮崎県医師会産業医研修会

10月20日(火) 19:00~21:00 [現地]

都城市北諸県郡医師会館

「労働衛生関係法令」

宮崎産業保健総合支援センター 副所長

地福 竹志

主催：宮崎産業保健総合支援センター

☎0985-62-2511

共催：宮崎県医師会

CC(単位)：0 (2.0)

生涯研修の更新研修会：2単位

第75回宮崎県スポーツ学会

10月24日(土) 15:00~18:30 [現地]

宮崎大学清武キャンパス

「アスリートのトータルコンディショニングに看護師がどう関わるか?~ハイパフォーマンススポーツセンター看護師の役割~」

国立スポーツ科学センター

スポーツ医学研究部門 主任専門職

先崎 陽子

「ACL損傷・再建後患者におけるスポーツ復帰に向けた心理的準備」

順天堂大学 保健医療学部 理学療法学科 教授

相澤 純也

「オーバーヘッドアスリートの肩障害に挑む~保存治療から手術治療, 競技復帰まで~」

名古屋市立大学 整形外科 准教授 吉田 雅人

主催: 宮崎県スポーツ学会

共催: 宮崎県整形外科医会

後援: 宮崎県医師会, 久光製薬㈱

連絡先: 宮崎大学医学部整形外科

☎0985-85-0986

CC(単位): 5 (1.0), 10 (1.0), 57 (1.0)

日医認定健康スポーツ医学再研修会: 3 単位

参加費: 1,000円

令和8年度看護師の特定行為に関する研修会

10月30日(金) 18:30~20:30 [現地・Web]

宮崎県防災庁舎

「特定行為看護師の活用と活動状況について」

医療法人伸和会延岡共立病院 病院長

赤須 晃治, 他

主催: 宮崎県福祉保健部医療政策課

☎0985-26-7450

CC(単位): 10 (1.0)

宮崎県医師会産業医研修会

10月30日(金) 19:00~21:00 [現地]

日南市テクノセンター

「行動変容理論に基づく健康診断事後保健指導の事例検討」

産業保健相談員

産業医

江藤 敏治

主催: 宮崎産業保健総合支援センター

☎0985-62-2511

共催: 宮崎県医師会

CC(単位): 11 (2.0)

生涯研修の实地研修会: 2 単位

皮膚の日講演会

11月8日(日) 14:00~15:30 [現地・Web]

宮崎観光ホテル

「不老長寿から不老不死へ」

青木皮膚科

出盛 允啓

主催: 宮崎県皮膚科医会 ☎0985-23-2011

日本臨床皮膚科医会宮崎県支部

共催: 日本皮膚科学会

後援: 厚生労働省, NHK, 日本医師会

宮崎県医師会

CC(単位): 9 (1.5)

宮崎県医師会産業医研修会

11月11日(水) 19:00~21:00 [現地]

宮崎県医師会館

「高ストレス者への面接指導とロールプレイによる実務的研修」

産業保健相談員

人財科学研究所 代表

工藤 智徳

主催: 宮崎産業保健総合支援センター

☎0985-62-2511

共催: 宮崎県医師会

CC(単位): 5 (2.0)

生涯研修の实地研修会: 2 単位

宮崎県医師会産業医研修会

11月12日(木) 19:00~21:00 [現地]

宮崎県医師会館

「化学物質との対話(化学物質管理にあたって大切なこと)」

産業保健相談員

労働衛生コンサルタント

下津 義博

主催: 宮崎産業保健総合支援センター

☎0985-62-2511

共催：宮崎県医師会
CC(単位)：0(2.0)
生涯研修の専門研修会：2単位

宮崎県医師会産業医研修会
11月13日(金) 19:00～21:00 [現地]
宮崎県医師会館

「行動変容理論に基づく健康診断事後保健指導の事例検討」
産業保健相談員
産業医 江藤 敏治
主催：宮崎産業保健総合支援センター
☎0985-62-2511
共催：宮崎県医師会
CC(単位)：11(2.0)
生涯研修の実地研修会：2単位

宮崎県医師会産業医研修会
11月18日(水) 19:00～21:00 [現地]
延岡市医師会病院

「高ストレス者への面接指導とロールプレイによる実務的研修」
産業保健相談員
人財科学研究所 代表 工藤 智徳
主催：宮崎産業保健総合支援センター
☎0985-62-2511
共催：宮崎県医師会
CC(単位)：5(2.0)
生涯研修の実地研修会：2単位

宮崎県医師会産業医研修会
11月19日(木) 19:00～21:00 [現地]
宮崎県医師会館

「自律的な化学物質管理とCREATE-SIMPLEを用いたリスクアセスメント」
産業保健相談員
なかほぎ労働衛生コンサルタント事務所 所長 中甫木 直樹
主催：宮崎産業保健総合支援センター
☎0985-62-2511
共催：宮崎県医師会

CC(単位)：0(2.0)
生涯研修の実地研修会：2単位

宮崎県医師会産業医研修会
11月25日(水) 19:00～21:00 [現地]
日南市テクノセンター

「上司が知っておくべき部下を輝かせるコミュニケーション力」
産業保健相談員
産業医 江藤 敏治
主催：宮崎産業保健総合支援センター
☎0985-62-2511
共催：宮崎県医師会
CC(単位)：10(2.0)
生涯研修の専門研修会：2単位

宮崎県医師会産業医研修会
11月26日(木) 19:00～21:00 [現地]
都城市北諸県郡医師会館

「化学物質管理者制度と産業医～化学物質の性状に関連の強い災害～」
産業保健相談員
労働衛生コンサルタント 下津 義博
主催：宮崎産業保健総合支援センター
☎0985-62-2511
共催：宮崎県医師会
CC(単位)：0(2.0)
生涯研修の専門研修会：2単位

宮崎県医師会産業医研修会
11月27日(金) 14:00～16:00 [現地]
宮崎県医師会館

「労災事故を防ぐための保護具の正しい使用法」
産業保健相談員
宮崎大学 国際連携機構・国際連携センター
客員教授 黒田 嘉紀
主催：宮崎産業保健総合支援センター
☎0985-62-2511
共催：宮崎県医師会
CC(単位)：11(2.0)
生涯研修の専門研修会：2単位

診療メモ

糖尿病診療における
マンジャロ[®]の適正使用について県立宮崎病院 内科部長 あづま 東 ま 真 ゆみ 弓

はじめに

「先生、これはやせることのできる薬だね？」
マンジャロ[®]（一般名チルゼパチド）について、外来でこのような質問を受ける機会が増えました。「SNSで見た」「知人が10kgやせたらしい」といった話とともに、処方希望される患者さんもいます。糖尿病治療薬であるマンジャロ[®]が、「やせる薬」として広く認知されていることを、多くの先生方も実感されているのではないのでしょうか。一方、チルゼパチドはゼップバウンド[®]として、一定の条件を満たす肥満症治療にも使用され、最近ではその使用条件が緩和されました。更に、中等症以上の閉塞性睡眠時無呼吸症候群にも適応が拡大されるなど、減量を介した医学的意義とその適応範囲は広がっています。

チルゼパチドとは

消化管から分泌され、グルコース応答性に膵β細胞からのインスリン分泌を促進するホルモンをインクレチンと呼び、現在GIPとGLP-1が同定されています。チルゼパチドは、GIP受容体とGLP-1受容体の両方を活性化するデュアルインクレチン受容体作動薬です。

この薬剤は39個のアミノ酸からなる合成ペプチドであり、GIPのアミノ酸配列を基盤としな

がらGLP-1受容体にも作用し、週1回の皮下投与で治療できるよう設計されています。GLP-1受容体の活性化は、インスリン分泌促進やグルカゴン分泌抑制による血糖改善に加え、胃排出遅延や中枢性の食欲抑制などをもたらします。一方、GIP受容体の活性化にもインスリン分泌促進の他、中枢神経系や脂肪組織を介した食欲抑制や脂肪組織での脂質代謝への作用が示されています。これらは単純な「GIP作用+GLP-1作用」の足し算では説明できませんが、両受容体への作用を通じて、強力な血糖改善効果と体重減少効果を発揮します。

肥満を起点とする疾患概念の変遷

肥満は単なる体重増加ではなく、多くの慢性疾患に共通する病態基盤です。1980年代後半から、血糖、中性脂肪、血圧などの異常が同一個人に集積することが注目され、インスリン抵抗性を重視した「シンドロームX」や「死の四重奏」が提唱されました。その後、内臓脂肪蓄積を背景に代謝異常が重複する「メタボリック症候群」の概念へと発展しました。現在では、肥満は単なる脂肪の蓄積ではなく、過剰かつ機能異常をきたした脂肪組織と捉えられています。肥満を起点に代謝異常や慢性炎症を介して心臓、腎臓、肝臓などへ臓器障害を生じ、臓

器間の相互連関によって病態が進展すると考えられています。こうした考え方を背景に、2023年にはアメリカ心臓協会（AHA）が、心血管・腎・代謝を連続した病態として捉えるCKM（Cardiovascular-Kidney-Metabolic）症候群を提唱しました。このような病態を有する患者に対する適切な減量には、過剰な脂肪蓄積に介入し、代謝異常や臓器障害の進展を抑制するという大きな医学的意義があります。

減量のみを目的としたチルゼパチド使用の問題点

一方、非肥満の方に対して、減量のみを目的にチルゼパチドを使用することには慎重であるべきです。昨年、日本肥満学会は「女性の低体重・低栄養症候群（Female Underweight/Undernutrition Syndrome：FUS）」という概念を提唱しました。主に18歳以上から閉経前の女性を対象とし、単なる低BMIではなく、低体重や低栄養にともなう身体的・心理的な健康障害を包括的に捉える概念です。その背景には、「やせ＝美しい」という社会的価値観やSNSなどによる過度なやせ志向があり、過度な食事制限に加え、近年ではチルゼパチドなどの適応外使用による美容目的の減量も懸念されています。若い女性だけでなく、過度な減量による低栄養や筋肉量・骨量の減少は、年齢や性別を問わず注意すべき問題です。

① 減量にともなう筋肉量低下への注意

チルゼパチドによる体重減少では、脂肪だけが選択的に減少するわけではありません。チルゼパチドの肥満・過体重に対する有効性と安全性を検証した一連の臨床試験（SURMOUNT試験）のうち、SURMOUNT-1試験のDXAサブ解析では、減少した体重の約75%が脂肪量、約25%が除脂肪体重（筋肉や臓器、体液など脂肪以外の組織）の減少によるものでした。除脂肪体重の減少をそのまま筋肉量の減少と捉えるこ

とはできませんが、大幅な減量にともなう筋肉量も一定程度減少すると考えられます。特に高齢者やもともと筋肉量の少ない人では注意が必要です。また、食欲の抑制によってたんぱく質などの必要な栄養素が不足すれば、筋肉量や筋力の低下を助長する可能性があります。そのためチルゼパチドを用いた治療中は、体重だけでなく、適切な栄養摂取と運動を組み合わせ、必要に応じて筋肉量や筋力、身体機能を評価することが重要です。

② チルゼパチド中止後の体重再増加を見据えた治療

チルゼパチドによる減量では、薬剤中止後の体重再増加についても考慮する必要があります。SURMOUNT-4試験では、36週間のチルゼパチド治療後、投与継続群ではその後の52週間で更に5.5%の体重減少を認めた一方、プラセボへ切り替えた群では14.0%の体重増加を認めました。この結果は、チルゼパチドによる減量効果が薬剤中止後に失われる可能性を示しています。また、減量時に除脂肪体重が減少し、中止後の体重増加が主に脂肪によるものであれば、同じ体重に戻っても体組成が治療前とは異なる可能性があります。現時点でこれを示す十分なエビデンスはありませんが、治療開始時から中止後も含めた長期的な体重管理を考えておく必要があります。

おわりに

チルゼパチドは、強力な血糖改善作用と体重減少効果を併せ持つ有用な糖尿病治療薬です。一方、その効果の大きさゆえに、「やせること」自体が目的となる危うさもあります。誰に、何のために使用するのかを明確にし、栄養や筋肉を守りながら、得られた効果を長期的に維持することまで見据えた治療が、適正使用につながると考えます。

宮大医学部学生のページ



部活動紹介～ダンス部～

宮崎大学医学部 医学科3年 ^し ^{みず} ^{しょう} ^ご
清 水 省 吾

宮崎大学医学部ダンス部部長を務めています。医学科3年の清水省吾です。私たちダンス部は、昨年度までサークルとして活動してきました。そして今年度、正式な「部活動」として承認され、新たなスタートを切りました。サークル時代から築き上げてきた自由に親しみやすい雰囲気はそのままに、より充実した環境で活動できるようになり、部員一人ひとりが自分らしくダンスを楽しめる場所となっています。

現在、ダンス部には45名の部員が所属しており、毎週木曜日の19時から主に武道場で練習しています。それ以外にも4階LL教室を借りて、個人練習やジャンル練習をしています。清武キャンパスの医学科や看護科の学生だけではなく、木花キャンパスの工学部の学生もダンス部に所属しています。部員は全員ダンス経験者

というわけではなく、未経験者も多く入部しています。先輩や経験者が基礎から丁寧に教えることで、未経験の部員も安心して活動に参加でき、着実に上達できる環境を整えています。私たちの部活の一番の魅力は、なんといっても和気あいあいとした雰囲気です。練習中は真剣に踊りながらも、休憩時には学年を越えて談笑したり、一緒に食事に行ったりと、部員同士の仲がとてもよいです。4月に入部したばかりの新入生もすぐに打ち解けることができ、居心地のよい空間が自然と生まれています。ダンス部の活動は、ダンスの技術向上だけでなく、部員同士のつながりや大学生活の充実につながっています。

また、ダンス部にはさまざまなスタイルで活動する部員がいます。趣味として気軽にダンスを楽しみたい人、自分のペースで無理なく活動したい人もいれば、ダンススクールに通いながら技術向上を目指し、本格的にダンスへ打ち込んでいる人もいます。それぞれが自分の目標やペースに合わせて活動できるため、どんな人でも安心して活動できる環境が整っています。活動ではさまざまなジャンルのダンスに挑戦しています。主なジャンルには、キレのある止めが



武道場での練習

魅力のロック、音楽に乗るグルーブを重視した自由なヒップホップ、女性らしいしなやかさと表現力を活かすガールズ、キレと迫力を特徴とするK-POP、筋肉を弾いて機械のような動きを生み出すポップなどがあります。ジャンルごとに得意な部員が振り付けを考えたり、お互いに教え合ったりしながら、一つの作品を作り上げています。自分の好きなジャンルを深めることも、新しいジャンルに挑戦することもできるため、幅広い経験を積むことができます。

発表の機会も多く、新入生に対してダンスを披露する新歓ショーケースや大学祭、更に県外のダンスイベントへ参加するなど、さまざまなステージで日頃の練習の成果を披露しています。6月には福岡で九州内の医療系大学のダンスイベントである“Kyushu Dancers of Medical students”，通称KDMが開催され、宮崎大学からは30名の部員が参加しショーケースを披露しました。またKDMのアフターパーティーでは1，2年生が中心となってロックダンスやガールズなどを披露しました。また今年の3月には大阪でのダンスイベントであるDriveにダンス部として初めて参加しました。観客の前で踊る緊張感や、1つの作品を全員で成功させたときの感動は、普段の練習では味わえない特別な経験になります。本番を迎えるまでの努力や仲間との時間は、大学生活のかけがえない思い出となっています。こうしたイベントを通じて、他大学とも交流することで、学部や学科を越えた友人ができるため、大学生活の幅も大きく広がります。更にダンス経験のあるOBやOGの方々を招き、ダンスを教えていただいたり、外部のダンサーに声をかけてレクチャーをしていただいたりと、多方面へのつながりを作ること

ができるのもダンス部の魅力です。

今年から部活動へと昇格したことで、これから更に活動の幅を広げ、新しいことにも積極的に挑戦していきたいと考えています。これまでに参加したことのないイベントに積極的に参加するなど、ダンス部としてダンスを披露する機会を増やしていきたいです。今まで以上に多くの部員がより精力的にダンスに取り組んでおり、より部全体でのダンスのレベルが上達するように力を入れています。最近の活動では週に1ジャンルだった練習を2ジャンルに増やし、毎週の活動日以外にも自主的にダンスをする部員が増え、たくさんの練習をする機会が生まれています。これからもこれまで以上に部員全員でよりよい部をつくり上げながら、一人ひとりがダンスを通して成長できる環境を目指しています。

最後になりますが、宮崎大学医学部ダンス部のOB・OGの先輩方、宮崎県医師会、宮崎県の県民の皆様の多大なるご支援によりこのような充実した部活動、学生生活を行わせていただいております。部員一同感謝申し上げます。今後とも宮崎大学医学部ダンス部をよろしくお願いします。



KDMのステージ

お知らせ

県医師会から各郡市医師会へ送付しました文書についてご案内します。詳細につきましては、会員専用ページをご覧ください。所属郡市医師会へお問い合わせください。会員専用ページを見るためにはユーザ名、パスワードが必要です。県医師会地域医療課（TEL 0985-22-5118）にお問い合わせください。

またMMA通信（県医師会から会員への情報提供メーリングリスト）でも本文書について随時お知らせしていますので、まだご登録されていない会員の方はぜひご登録をお願いします。

送付日	文 書 名
7月31日	・第57回全国学校保健・学校医大会「分科会」の演題について（ご案内） ・宮崎市国民健康保険に係る事務処理誤りに関するお詫び及び関係医療機関等への周知について（依頼） ・熱中症予防の普及啓発・注意喚起について（再周知） ・生活保護受給者向けマイナンバーカードの利用登録勧奨リーフレットについて（周知依頼） ・渡航移植に関する注意喚起情報の発信について ・「ヒトゲノム編集胚等の取扱いの規制に関する法律」の公布について ・全国がん登録における被保険者番号等の届出に関するQ&Aについて ・年介護サービス施設・事業所調査の協力依頼について ・公益社団法人国民健康保険中央会運用LIFEへの移行に係る再々周知について ・ケアプランデータ連携システムの障害の復旧及び再発防止策について（情報提供） ・令和8年熊本地震に伴う災害の被災者に係るマイナ保険証又は資格確認書等の提示等について ・令和8年熊本地震の被災者に関する既往歴等の提供について ・令和8年熊本地震に係るオンライン資格確認等システムにおける「緊急時医療情報・資格確認機能」をアクティブ化する医療機関・薬局の範囲・期間について ・令和8年熊本地震に伴う災害の被災者に係る各種母子保健サービスの取扱い等について ・令和8年熊本地震に伴う災害により被災した要介護高齢者等への対応および被災者に係る被保険者証の提示等について ・令和8年熊本地震に伴う災害に係る介護報酬等の柔軟な取扱い（基準緩和等）について ・令和8年熊本地震による災害に係る介護報酬等の請求等の取扱いについて
8月4日	・令和8年度医療法第25条第1項の規定に基づく立入検査等の実施について（通知） ・愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会開催に伴う感染症リスク評価及び感染症サーベイランスの取組強化について ・令和8年熊本地震による災害に伴う医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律等に係る取扱いについて ・令和8年熊本地震における医療用麻薬の譲渡の取扱いについて（通知） ・令和8年熊本地震に係るオンライン資格確認等システムにおける「緊急時医療情報・資格確認機能」をアクティブ化する医療機関・薬局の範囲・期間について（その2） ・令和8年熊本地震に伴う診療録等の文書の保存に係る取扱いについて ・令和8年熊本地震における医療用麻薬の移動の取扱いについて（医療機関及び薬局への周知依頼） ・令和8年熊本地震にかかる災害による被災に関する診療報酬等の請求の取扱いについて ・令和8年熊本地震に係るデータ提出加算及び外来データ提出加算等の取扱いについて ・令和8年熊本地震の被災者の「公害健康被害の補償等に関する法律」「水俣病被害者の救済及び水俣病問題の解決に関する特別措置法」「石綿による健康被害の救済に関する法律」等に係る公費負担医療の取扱いについて

送付日	文 書 名
8月4日	・令和8年熊本地震により被災した障害者等に対する支給決定等について ・令和8年熊本地震による災害に係る介護報酬等の請求等の取扱いについて（7月サービス提供分） ・令和8年熊本地震に伴う要援護高齢者等への適切な支援及びケアマネジメント等の取扱いについて ・「がん診療連携拠点病院等の整備に関する指針」「小児がん拠点病院等の整備に関する指針」及び「がんゲノム医療中核拠点病院等の整備に関する指針」の周知について ・標準治療終了前に実施するがん遺伝子パネル検査について ・神戸検疫所における黄熱予防接種巡回診療の開始について ・高額療養費制度の見直しに係る健康保険法施行令等の一部を改正する政令等の公布について ・「診療報酬請求書等の記載要領等について」の一部改正について ・疑義解釈資料の送付について（その11） ・令和8年度診療報酬改定関連通知及び官報掲載事項の一部訂正について ・疑義解釈資料の送付について ・労働施策の総合的な推進並びに労働者の雇用の安定及び職業生活の充実等に関する法律等の一部を改正する法律の施行（ハラスメント対策関係）に係る周知への御協力について（依頼） ・労働安全衛生法に基づく化学物質による労働災害防止のための自律的管理に関する説明会の周知依頼 ・「令和9年度産業医学調査研究助成」公募の広報協力をお願い ・ケアプランデータ連携システムの介護保険資格確認等WEBサービスへの移行について ・令和8年度デジタル中核人材養成に向けた調査研究事業一式「デジタル中核人材養成研修」の周知及び受講勧奨のお願いについて（情報提供）
8月7日	・令和8年熊本地震に係るオンライン資格確認等システムにおける「緊急時医療情報・資格確認機能」をアクティブ化する医療機関・薬局の範囲・期間について（その3） ・令和8年熊本地震により被災した高齢の要援護者への対応及びこれに伴う特例措置等について ・令和8年熊本地震による被災地において医療用酸素ガスボンベの代わりに工業用酸素ガスボンベを用いて医療用酸素ガスを供給すること等について（医療機関及び製造販売業者等への周知依頼） ・令和8年熊本地震にかかる福祉避難所等に対する福祉関係職員等の派遣に係る費用の取扱い等の送付について ・令和8年熊本地震における医療用麻薬の県境移動の取扱いについて（卸売業者、医療機関及び薬局への周知依頼） ・令和8年熊本地震の被災に伴う医療法等の取扱いについて（通知） ・「令和8年熊本地震」におけるJMAT活動に関する写真・ショート動画のご提供のご依頼 ・予防接種事務デジタル化に係る法令の建付けの明確化及び方針の再整理について ・予防接種事務のデジタル化に係る説明会の開催予定について ・「予防接種法の一部を改正する法律」の公布について（通知） ・「ベースアップ評価料の8月の報告に係る説明資料について」の更新について ・独立行政法人福祉医療機構の貸付利率の改定について ・「社会医療法人等における訪日外国人診療に際しての経費の請求について」（通知）の一部改正について

送付日	文 書 名
8月7日	・令和8年医療施設静態調査，患者調査及び受療行動調査の実施通知等について（通知） ・令和8年度医療情報セキュリティ研修の実施について（医療機関等への周知依頼）（通知） ・令和8年度（第77回）全国労働衛生週間に関する協力依頼について ・「地域医療構想の作成について」他の発出について ・愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会開催に伴う感染症リスク評価及び感染症サーベイランスの取組強化について
8月14日	・令和8年度に発生した災害により被災した医療施設等に係る災害復旧費補助金の活用意向の報告について（通知） ・令和8年熊本地震における「JMAT活動ガイドブック」の緊急無償閲覧について ・令和8年熊本地震に伴い避難先市町村の地域密着型（介護予防）サービス等を利用する場合の手続について ・令和8年熊本地震に伴う災害の被災者に係る保険医療機関等における一部負担金等の取扱いについて ・令和8年熊本地震に伴う予防接種の取扱いについて ・令和8年熊本地震に伴う災害の被災者が受けたはり師，きゅう師及びあん摩マッサージ指圧師の施術に係る医師の同意書等の取扱いについて ・令和8年熊本地震に係るオンライン資格確認等システムにおける「緊急時医療情報・資格確認機能」をアクティブ化する医療機関・薬局の範囲・期間について（その4） ・令和8年熊本地震による被災者に係る利用料等の介護サービス事業所等における取扱いについて ・令和8年度院内感染対策講習会（講習会①）の受講者の決定について ・公金受取口座登録制度の周知用ポスターについて（周知依頼） ・「特定保険医療材料の定義について」の一部改正について ・公知申請に係る事前評価が終了した医薬品の保険上の取扱いについて ・第38回（令和8年度）健康スポーツ医学講習会の開催について ・高齢者におけるポリファーマシー対策の普及啓発資料について ・令和6年度介護報酬改定の効果検証及び調査研究に係る調査（令和8年度調査）への協力依頼（2回目）について ・今夏の急性呼吸器感染症（ARI）等への対策の推進について（通知） ・「再生医療等の安全性の確保等に関する法律に基づく再生医療等に関連した「遺伝子組換え生物等の使用等の規制による生物の多様性の確保に関する法律」に基づく手続等について」の一部改正について（通知） ・MAMIS上の会員情報修正依頼反映のお知らせ ・MAMIS医療機関マスタの登録依頼フォーム公開のお知らせ
8月18日	・令和8年8月13日から的大雨に伴う災害の被災者に係るマイナ保険証又は資格確認書の提示等について ・令和8年8月13日から的大雨に伴う災害の被災者に関する既往歴等の提供について ・令和8年8月13日から的大雨に伴う災害に係るオンライン資格確認等システムにおける「緊急時医療情報・資格確認機能」をアクティブ化する医療機関・薬局の範囲・期間について ・令和8年熊本地震に伴う災害の被災者に係る保険医療機関等における一部負担金等の取扱いについて（その2） ・令和8年熊本地震に伴う災害の被災者に係る保険医療機関等における一部負担金等の取扱いについて（その3）

送付日	文 書 名
8月18日	・令和8年熊本地震に係るオンライン資格確認等システムにおける「緊急時医療情報・資格確認機能」をアクティブ化する医療機関・薬局の範囲・期間について（その5） ・医療事故情報収集等事業第85回報告書の公表について（通知） ・医療事故情報収集等事業2025年年報の公表について（通知） ・令和8年度SDS電子化補助金事業の実施について ・医療法等の一部を改正する法律の施行に伴う厚生労働省関係省令の整備等に関する省令の公布について（地域医療構想関係） ・エフィエント錠2.5mg及び同錠3.75mg並びにその後発医薬品のプラスグレル塩酸塩製剤の医薬品医療機器等法上の効能・効果等の変更に伴う留意事項の一部改正等について ・労働安全衛生法及び作業環境測定法の一部を改正する法律等の施行等について（個人ばく露測定等関係） ・令和8年度「自殺予防週間」における啓発活動等の推進について
8月25日	・第三者行為に係る診療報酬明細書（レセプト）の特記事項欄記載依頼文書の送付について（お願い） ・第2世代（次期）顔認証付きカードリーダーの発売開始について（周知依頼） ・ベースアップ評価料の届出・請求に係る再確認のお願い ・日本医学会「第40回日本医学会公開フォーラム」ご案内の送付について ・第47回産業保健活動推進全国会議の開催について ・第32回日本医学会総会登録推進活動のお願いについて ・第57回全国学校保健・学校医大会の事前参加登録期間の延長について ・「救急の日」及び「救急医療週間」の実施について ・令和8年度厚生労働省委託事業「地域の在宅医療の体制整備に向けた調査・連携支援事業」における「在宅医療に必要な連携を担う拠点に関する説明会」のアーカイブ動画について ・休業日明けの時期等における熱中症事故の防止について（依頼） ・水溶性プレドニン10mg・20mg，リンデロン注2mg（0.4%）・4mg（0.4%）の出荷量減少に伴う，処方時のご配慮のお願い ・医療機関における管理体制の再確認について（通知） ・夏季の省エネルギーの取組について（周知依頼） ・「使用薬剤の薬価（薬価基準）の一部改正等について」の一部訂正について ・スラタデノツレブ製剤に係る最適使用推進ガイドラインの策定に伴う留意事項について ・「厚生労働大臣が指定する病院の病棟における療養に要する費用の額の算定方法第一項第五号の規定に基づき厚生労働大臣が別に定める者について」の一部改正について ・使用薬剤の薬価（薬価基準）の一部改正等について ・令和8年度版「医療機関・薬局におけるサイバーセキュリティ対策チェックリスト」及び「医療機関・薬局におけるサイバーセキュリティ対策チェックリストマニュアル～医療機関・薬局・事業者向け～」について（通知） ・「介護サービス情報の公表」制度の施行について」一部改正について ・小規模事業場向け中防災ストレスチェックサービスの開始について ・「使用上の注意」の改訂について ・令和8年7月17日から18日にかけての大雨に伴う災害の被災者に係るマイナ保険証又は資格確認書の提示等について ・令和8年7月17日から18日にかけての大雨に伴う災害に係る災害救助法の適用について ・令和8年8月13日から大雨に伴う災害により被災した要介護高齢者等への対応および被災者に係る被保険者証の提示等について

送付日	文 書 名
8月25日	・令和8年8月13日からの大雨に伴う災害に係る介護報酬等の柔軟な取扱い（基準緩和等）について ・令和8年8月13日からの大雨に伴う災害の被災者に係る定期検査等の取扱いについて ・令和8年8月13日からの大雨に伴う災害の被災者に係る各種母子保健サービスの取扱い等について ・令和8年8月13日からの大雨に伴う災害に係るオンライン資格確認等システムにおける「緊急時医療情報・資格確認機能」をアクティブ化する医療機関・薬局の範囲・期間について（その2） ・令和8年8月13日からの大雨により被災した障害者等に対する支給決定等について ・令和8年熊本地震により被災した学生・生徒等への配慮について ・令和8年熊本地震に係る公費負担医療の取扱いについて（その2） ・令和8年熊本地震の発生に伴う社会福祉施設等に対する介護職員等の派遣に係るQ&Aについて ・令和八年熊本地震による災害に対処するための要介護認定有効期間及び要支援認定有効期間の特例に関する省令等の施行等について ・令和8年熊本地震の被災に伴う保険診療関係等及び診療報酬の取扱いについて ・令和8年熊本地震に伴う災害の被災者に係る保険医療機関等における一部負担金等の取扱いについて（その4） ・令和8年8月千葉豪雨に係る保険診療関係等及び診療報酬の取扱いについて
8月28日	・「自殺予防週間」における啓発活動等への協力について（依頼） ・令和8年度全国学校保健・安全研究大会の開催について ・「社会医療法人等における訪日外国人診療に際しての経費の請求について」（通知）の一部改正について（通知） ・宮崎県がん検診精度管理要領及び様式の一部改正について（通知） ・感染症法に基づく消毒・滅菌の手引きについて ・「「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」の宣言を受けたエボラ出血熱に係る協力依頼について」別添の一部改正について ・疑義解釈資料の送付について（通知） ・再生医療等の適切な提供に係る自己点検について（通知） ・厚生労働省組織令等の一部改正に伴う医政局の組織再編等について（通知） ・一般社団法人が開設する医療機関の非営利性の確認のポイント及び医療機関を開設する一般社団法人が届け出なければならない計算書類等の様式等（通知） ・経済産業省による令和7年度補正予算省エネ・非化石転換補助金の3次公募期間について（情報提供） ・令和8年度「防災週間」及び「火山防災の日」について ・「新生児聴覚検査の実施について」の一部改正について ・「職場の健康診断実施強化月間」の実施に関する協力依頼について ・「プレコンセプションケア推進に向けた工程表の策定について」及び「思春期のこどもが安心して産婦人科を受診できる環境づくりのための調査研究結果について」の情報提供 ・乾燥BCG膀胱内用（日本株）に係る「使用上の注意」の改訂について ・「使用上の注意」の改訂について ・広島検疫所での黄熱予防接種休止について

送付日	文 書 名
8月28日	・子育て支援関係事業における医薬品の投与について ・令和8年熊本地震の被災に伴う医療法等の取扱いについて（通知） ・令和8年熊本地震による災害に係る介護報酬等の請求等の取扱いについて（7月サービス提供分）（その2） ・令和8年熊本地震を受け、福祉避難所として開設された介護保険施設等の使用料等の取扱いに関するQ&Aについて ・令和8年熊本地震に係るオンライン資格確認等システムにおける「緊急時医療情報・資格確認機能」をアクティブ化する医療機関・薬局の範囲・期間について（その6） ・令和8年熊本地震における医師等の保健医療従事者の派遣及び薬局における調剤に係る費用の取扱いについて（通知） ・令和8年7月17日から18日にかけての大雨に伴う災害により被災した要介護高齢者等への対応および被災者に係る被保険者証の提示等について ・令和8年7月17日から18日にかけての大雨に伴う災害に係る介護報酬等の柔軟な取扱い（基準緩和等）について ・令和8年7月17日から18日にかけての大雨に伴う災害の被災者に係る定期検査等の取扱いについて ・令和8年7月17日から18日にかけての大雨に伴う災害の被災者に係る各種母子保健サービスの取扱い等について
9月1日	・令和9年度国庫補助事業の活用希望について（通知） ・令和8年度業務継続計画（BCP）策定研修に係る受講者の募集について（通知） ・「医師法施行規則等の一部を改正する省令」の公布について（通知） ・令和8年9月のオンライン資格確認等システムの改修に伴う影響について（周知依頼） ・令和8年度人生会議（ACP：アドバンス・ケア・プランニング）普及啓発イベントの開催について ・令和8年度地域支援事業実施要綱等の改正点について ・かぜ薬等の添付文書等に記載する使用上の注意の一部改正について ・「使用上の注意」の改訂について ・一般用漢方製剤の添付文書等に記載する使用上の注意の一部改正について ・令和7年度 販売情報提供活動監視事業報告書について ・令和8年8月27日からの大雨に伴う災害の被災者に関する既往歴等の提供について ・令和8年8月27日からの大雨に伴う災害の被災者に係るマイナ保険証又は資格確認書の提示等について ・令和8年8月27日からの大雨に伴う災害に係るオンライン資格確認等システムにおける「緊急時医療情報・資格確認機能」をアクティブ化する医療機関・薬局の範囲・期間について ・令和8年8月27日からの大雨に伴う災害により被災した要介護高齢者等への対応および被災者に係る被保険者証の提示等について ・令和8年8月27日からの大雨に伴う災害に係る介護報酬等の柔軟な取扱い（基準緩和等）について ・令和8年8月千葉豪雨にかかる災害による被災に関する診療報酬等の請求の取扱いについて ・令和8年熊本地震の被災に伴う保険診療関係等の特例措置の期間について

医療機関の経営者・管理者の皆様へ

医療勤務環境 改善支援センターを ご利用ください

県下の社会保険労務士と医業経営コンサルタントが県内の医療機関からの医療勤務環境の相談内容に応じて専門的な助言・支援を行います。

医療労務管理相談

- スタッフが長く、安心して働ける職場にしたい!
- 育児・介護中の休み方、働き方は?
- 医師の負担を軽減させたい...

医業経営面

- スタッフのキャリアを磨きたい!
- 補助制度を上手に活用したい。
- 効率良く、経営を安定させたい。

相談
無料



まずは、お電話ください。

宮崎県医療勤務環境改善支援センター

公益社団法人宮崎県医師会内

月曜～金曜 午前10時から午後4時まで

TEL.0985-20-1211

FAX.0985-27-6550

E-mail iryou-kinmukaizen@miyazaki.med.or.jp

日州医事原稿募集のお知らせ

日州医事では、会員の皆様から随筆、旅行記、ご意見などさまざまな投稿を随時受け付けております。以下の要領に沿ってご投稿ください。

■ 随想・随筆・旅行記

字数：3,000字以内

写真：執筆者顔写真、その他本文に関連した写真・イラストなども掲載可

■ 短歌・俳句・川柳・詩

字数：それぞれの一般的な文字数（500字以内）

写真：執筆者顔写真、その他本文に関連した写真・イラストなども掲載可

■ 宮崎グルメ探訪

題材：お気に入りのお店をご紹介します。お店の雰囲気やお薦めの料理、思い出話など

字数：800字程度

写真：執筆者顔写真、その他料理などの写真（2枚程）

※掲載は白黒

■ 私の本/私が推薦する本

題材：書物の紹介、読みどころ、執筆の思い出・思い入れなど

字数：800字以内

写真：執筆者顔写真、書物の表紙写真

■ その他

- ・夏の「はまゆう随筆」、新年の「新春随想」はその時期に本誌で原稿募集の案内をいたします。
- ・随筆などに掲載する、カット・イラストも随時募集しています。

～上記のコーナーにご投稿いただくにあたっての留意事項～

■ 掲載の可否・方法につきましては広報委員会にご一任ください。

■ 原稿の趣旨を変えない範囲で、日州医事のルールにしたがって表記などの修正をさせていただきます場合があります。

■ 日州医事は、各都道府県医師会や行政・図書館・報道機関などにも配布しています。

■ すべての投稿について

広報委員会で以下のいずれかに該当すると判断した場合には、修正または掲載をご遠慮いただくことがあります。

- ・著作権をはじめ、法令に定める権利やプライバシーを侵害するもの
- ・誹謗中傷や差別など、他の団体、個人または読者に不利益や嫌悪感を与える可能性があるもの
- ・布教や政治活動など、特定の宗教上や政治上の信条に偏ったもの
- ・公序良俗に反し、法律で禁止されている行為など、その他不適切と判断されるもの
- ・事実誤認、難解、過度な宣伝広告など

【原稿送付・問合せ先】 ご投稿は主にメールで受け付けております。

宮崎県医師会広報委員会 日州医事担当（小川）

Tel 0985-22-5118 Fax 0985-27-6550 E-mail genko@miyazaki.med.or.jp

あとかき

今年のお盆は同窓会三昧でした。中学・高校の実行委員会主催の公式の会、久しぶりに帰省した同級生を囲んだ高校メンバーとのミニ同窓会、40年ぶりとなる小学校の同窓会等々。公式の会では久しぶりに会う恩師にお礼を伝えるよい機会をもらえ、知らなかった同窓生と新たに知り合え、貴重な人脈を構築することができました。

ミニ同窓会では旧知の中でも知らなかった情報や一面をあらためて聞き笑い、愉快で幸せな時間を過ごせました。極めつけは40年ぶりの小学校の同窓会。顔と名前が全く一致しないレベルから始まるいろいろな話しているうちに、表情の端々に昔と変わらぬ一面を見つけ、最後には昔話とともに笑いあう仲間に戻り再会を誓い合いました。同級生も50歳を超え皆それぞれに責任のある立場や経営者となり、自分とは違う世界の話を聞け、非常に貴重な時間を持てました。ありがたいことに医師であることを皆尊敬してくれ、「いざとなれば竹尾がいるからな」と言ってきます。医者はなんでも診れると思っているようです。私は心の中では「俺は耳鼻科医なんだけどな…」と思いながらも、同級生たちに「なにバカ言ってるんだ!」とつつこみ、笑いあいました。しかし、同級生の訃報も聞くようになり、持病の有無についての話題も増えてきました。皆、医者は長生きするものとも思っているようです。『医者の不養生』と言われぬように自らの健康にも気を付けていこうと感じたお盆休暇となりました。(竹尾)

* * *

「お風呂が沸く」。考えてみれば、沸くのは浴槽ではなくお湯である。こうした、あるものを近い別のもので表す表現を「換喩(メトニミー)」というらしい。編集・校正をしていると、医者のか、言葉にも厳密さを求め、「これはおかしい」と理屈をこねたくなる。しかし、慣用表現には理屈を超えた自然さがある。これからは「正しいか」だけでなく、「自然に伝わるか」にも目を向けたい。そんな余裕を持って言葉と向き合えればと思う。(下窪)

* * *

去る8月8日、長男の結婚式がありました。両家の親類を中心としたこじんまりとしたものでしたが、我が家の子ども3人は長男も含めて県外在住のため、久しぶりの顔合わせとなりました。両家合わせて医師4名、看護師3名、臨床検査技師2名、医学生1名の医療従事者が集いました。手前味噌ながら新郎・新婦の晴れ姿は出席者を魅了しました。この日には次男もお相手と入籍を済ませるめでたい日となりました。どちらの夫婦にも幸せになってほしいと思うのは親心です。昨年他界した祖父母たちも天国から見届けたられたかな。(高橋)

* * *

Lancet誌などでは「少量のアルコールでも健康に悪い」報告があるが、エビデンス重視の医療人がこの論文をみて禁酒した、との話はほぼ聞いたことがない。呑まない私にはあまり理解できないが、愛酒家はその欲求を抑えるのは大変なのだろう。ところで、臨床ではエビデンスが確立していない経験的医療に頼らざるを得ないときがある。これを批判する方が時々いるが、彼ら自身はエビデンスに準じて行動(禁酒)しているのだろうか。(池田)

先日、富山で剣道の西医体がありました。飛行機、新幹線、在来線乗り継ぎ合計10時間の大移動から始まった遠征でした。限られた時間の中でも宮崎にはないサイゼリヤでご飯を堪能し、富山のお寿司を味わい、精一杯楽しめた4日間でした。試合に関しては、私自身は初心者のため相変わらず初戦敗退に終わりましたが、同期や後輩のいる女子団体が3位を取りました。それぞれ試験や実習がある中で、慌ただしいながらもとても充実した夏になりました。(安丸)

* * *

8月16日より3日間、西医体のソフトテニス競技が行われました。男子団体戦に出場し、4位に入賞、約10年ぶりに全医体への出場を決めました。試合に勝った瞬間に部員や応援に来てくださったOBの先生方と喜びを分かち合ったあの瞬間は、とても印象に残っています。全医体の2日前にCBT試験が控えており、私自身が出場できるかはまだわかりませんが、今後も勉強と部活の両立を目指し、より一層頑張りたいと思います。(日高)

* * *

暑い日が続く中、7月28日に発生した熊本地方を震源とした地震のニュースにあらためて災害への備えを考えさせられました。被災された方へ心からお見舞い申し上げます。隣県で起きた地震は、宮崎にとっても決して他人事ではありません。南海トラフ地震への備えも含め、平時からの医療機関同士の連携や顔の見える関係づくりの大切さを感じます。いざというときに地域医療を守るため、日頃からできることを一つずつ積み重ねていきたいと思います。(児玉)

今月のトピックス

エコー・リレー パリの思い出 岡村樹里先生 ダイビングとの出会い 明野慶子先生

お二人の素敵な趣味のお話が優しい文章で綴られています。

15ページ

身近なお困りごと相談室 第61回 SNSトラブルと職員規律

日頃からSNSに関するルールを明確化し、定期的に職員へ周知・研修を行うことで、医院と患者双方を守る体制を整えておくことが大切ですね。「医療機関での身近な疑問や質問」について、何かあれば宮崎県医師会までお寄せください。

17ページ

宮崎大学医学部だより 宮崎大学医学部附属病院 - リハビリテーション部 -

リハビリテーション医療は、新生児期から高齢者まで、急性期から回復期、そして生活期まですべての時期に関わる大切な医療です。これからも宮崎県のリハビリテーション医療をよろしくお願いします。

28ページ

診療メモ 糖尿病診療におけるマンジャロ®の適正使用について

「やせる薬」として広く認知されているマンジャロ®の適正使用について、県立宮崎病院内科の東真弓先生に詳しく教えていただきました。ぜひご一読ください。

60ページ

宮大医学部学生のページ 部活動紹介～ダンス部～

今年度からサークルから「部活動」として承認され、新たなスタートを切ったダンス部の皆さんが楽しく活動されている様子が目に浮かびました。それぞれの目標に向かって、ダンスを通して充実した学生生活を送ってください。応援しています。

62ページ

(文責：高村 一紘)

日 州 医 事 第925号 (令和8年9月号) (毎月1回10日発行)

発行人 公益社団法人 宮 崎 県 医 師 会 会長 河野 雅行

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地 TEL 0985-22-5118(代)・FAX 27-6550
<https://www.miyazaki.med.or.jp/> E-mail: office@miyazaki.med.or.jp

編 集 宮崎県医師会広報委員会

委 員 長 永野 元章

副 委 員 長 下窪 徹, 高村 一紘

委 員 高橋 聡, 川畑 武彦, 竹尾 輝久,
池田 俊郎, 持田 幸代

学 生 委 員 野間 貫太, 安丸 佳苗, 富田あさひ, 日高 想大

担当副会長 金丸 吉昌

担 当 理 事 田畑 直人, 高木 純一, 河原 勝博, 児玉 由紀

事 務 局 学術広報課 小川 道隆, 久永 夏樹

印刷所 有限会社 中川印刷 落丁・乱丁の際はお取り替えいたします。

定 価 350円 (但し、県医師会員の購読料は会費に含めて徴収してあります)